

## 基準7 学生支援

### (1) 観点ごとの分析

観点7-1-1 : 学習を進める上でのガイダンスが整備され、適切に実施されているか。また、学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

#### (観点到に係る状況)

学生便覧、シラバス等の資料が年度当初に全学生に配付され、HRで担任により説明されている(資料7-1-1-1)。新入生には毎年4月に新入生合宿研修を行い、学生間のコミュニケーションの拡大を図るとともに学生生活を中心としたガイダンスを行っている(資料7-1-1-2)。第3学年の年度末に、生産システム工学教育プログラム履修の手引が配付され、学科ごとにガイダンスが行われている(資料7-1-1-3)。4学年の1～2月に各学科でOB懇談会を開いている(資料7-1-1-4)。年度末には学年全体(資料7-1-1-5)及び各学科で進路懇談会(資料7-1-1-6)を開き、進路関係のガイダンスが行われている。専攻科生においても専攻科連絡会・ガイダンスが定期的に行われている(資料7-1-1-7)。

全教員がオフィスアワーを開設し、学生の自主的学習を支援している(資料7-1-1-8)。

専攻科生は自己点検表により学習達成度を自己評価し、また学習目標を設定して学習を自主的に進めるための方策としている(資料7-1-1-9)。

## 学級担任の手引

## 学級担任の業務詳細事項

## — 共通業務 —

A. 学年当初のホームルーム（特別活動の時間、以下「H・R」と略称）で行う事項

## 1: 学級役員の選出（4月上旬）

学級の学級委員その他の役員を決め、学生係経由で校長に報告する。この場合、なるべく学生の合議で決めさせ、担任は指導する。

## 2: 学年始行事の説明

学生課より配布される学年始めのスケジュール等の資料を予め整理し、確実に伝える。

## 3: 諸規程の説明

特に、学生に関係する学則、成績審査規程等の改訂のあった場合は、詳しく解説する。また、諸手続きに手落ちのないように指導する。

（特に再履修、再試験等については学生便覧を参照して下さい。）

## 4: 留年者の指導

留年者には、必修科目（必修選択科目含む）のB以上と選択科目のC以上は既修得となるので再履修する必要はないことを周知するとともに、願い出れば再履修も出来る事を指導する。（科目の開講後、2週間以内）

## 5: 再履修（再試験）の指導（科目の開講後、2週間以内）

未修得科目を持ちながら進級した者でD評価の科目のある者には再試験（履修免除）の道があることを周知する。ただし、実技科目は特別補講（学生便覧の「学習案内」参照）となる。

## 6: 再評価の指導（後期開始後2週間以内）

前期終了科目で評価Dである場合は、再評価が或ることを周知する。

（学生便覧の「学習案内」参照）

## 7: その学年の行事及び重要事項の説明

## B. 学期当初の業務

## 8: 前年度担任との引き継ぎ（1年を除く：前期のみ）

H・Rの実施メモ、指導を要する学生情報等について引き継ぎを行う。

（出典 学級担任の手引 20頁）

## 新入生合宿研修の手引

### 新入生合宿研修について

#### 1. 目標

- (1) 仲間作り (2) 高専生活への適応 (3) 心身の鍛錬

この研修を良いものにするためには、学生諸君一人一人の努力が必要である。諸君が主体的に取り組むことで、この研修が有意義な、そして楽しいものになることを期待する。

#### 2. 参加者：1年生全員 211名＋教職員 18名＝合計 229名

新 入 生：M科 43名，E科 43名，D科 42名，J科 41名，C科 42名

校 長：河上恭雄

総 責 任 者：高遠節夫（学生主事）

実 行 委 員 長：岩崎洋一（学生主事補）

副 実 行 委 員 長：丸山真佐夫（学生主事補）

第1学年学級担任（5名）：金子真隆(M)，清野哲也(E)，室井美稚子(D)，  
鈴木道治(J)，高橋邦夫(C)

専門学科教員（5名）：内田洋彰(M)，岡本保(E)，泉源(D)，大枝真一(J)，鬼塚信弘(C)

事務職員（4名）：原稔継，矢野幸一，高橋光子，安田勤

#### 3. 研修日程概要（詳細は後述）

##### 1日目（4月21日（木））

晴天の場合：鴨川市内でハイキング（約20kmか約13kmのいずれかを班毎に選択）後、鴨川青年の  
家に入所。

夕食および入浴後、創作劇発表会。

豪雨の場合：学校でのものづくり体験（クラスアート）後、鴨川青年の家に入所。

夕食および入浴後、創作劇発表会。

##### 2日目（4月22日（金））

晴天の場合：飯盒炊爨。

雨天の場合：ものづくり体験（ペーパークラフト）。

#### 4. 研修場所の住所、連絡先等

木更津高専：

清和県民の森：

みんなみの里：

鴨川青年の家：

実行委員長携帯：

（出典 2005年度新入生合宿研修の手引1頁）

## 生産システム工学教育プログラム履修の手引

### 1. はじめに

今日、人およびものが国境を越えて交流し、ものづくりに対する社会のニーズは多様化しています。わが国におけるものづくりでは、なにを、どこで、どのようにしてつくるかといった、いわゆる生産システムを考えなければなりません。そのために、諸問題を発見し、複合領域の知識により解決でき、国際化に対応できる能力を備えた技術者が求められています。これに応えるために、本校では、本科4年次から専攻科2年次まで4年間一貫の「生産システム工学」教育プログラムを設定し、国際化に対応できる技術者教育を行っています。

本教育プログラムは、最も得意とする専門分野の知識と能力を身につけ、さらに異なる技術分野を理解し、両分野の知識を複合させる能力を身につけることを目的としています。具体的には、本科で開設されている機械工学、電気電子工学、電子制御工学、情報工学、環境都市工学のうち、いずれか1つの専門分野を学修して、さらに他専門分野の科目を学修します。

この教育プログラムは、2005年度に日本技術者教育認定機構(JABEE)による認定審査を受審する予定です。JABEEについては「8. 日本技術者教育認定機構(JABEE)について」において説明しています。

学生の皆さんは、この履修手引書をよく読んで、修了要件を理解し、勉学に励んで下さい。

### 2. 履修対象者

本校の「生産システム工学」教育プログラムは、教育年限の設定を上記に述べたように本科4年次から専攻科2年次までの4年間としていることから、3年次にこのプログラムの紹介と履修の手引きの配布を行い、本科を卒業して専攻科に入学した者を「生産システム工学」教育プログラムを履修することができる者としてします。履修者の決定は入学時に行います。入学者全員が履修者となることを希望していません。本校の専攻科に入学できる者は、本校の学則第40条に専攻科入学資格として規定されていて、次の者が含まれています。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第82条の10の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(出典 生産システム工学教育プログラム履修の手引 2005年度版 3頁)

## OB 懇談会開催の例

OBを招いてインターン  
シップ講演会行われる

平成 18 年 1 月 31 日(火)15 時 10 分から 17 時 30 分まで第1講義室において環境都市工学科インターンシップ(進路懇談会)が行われ、4年生と教職員が参加した。

講師は、高専から就職、大学編入学、技科大から大学院など様々な進路をとった以下の5名のOBに依頼した。

忙しい中を後輩のために来校し、貴重な体験を交えた講演を行った(写真下)。また、4年生にとって興味ある進路について個別の懇談(写真上)を行い、進路選択の助言を行った。

- ◎ 氏 (H2 年卒 29 期)  
国土交通省関東地方整備局千葉国道工事事務所
- ◎ 氏 (H11 年卒 29 期)  
(株)カンドー 千葉大大学院終了
- ◎ 氏 (H12 年卒 30 期)  
JR 東海 新幹線鉄道事業本部施設部工事課



- ◎ 氏  
(H13 年卒 31 期)  
長岡技科大大学院 2 年
- ◎ 氏  
(H13 年卒 31 期)  
(株)道路建設  
コンサルタント

(出典 例：環境都市工学科 Civil Engineering News (CEN) 2006 年 2 月 27 日号 6 頁)

## 進路懇談会資料

## 平成17年度進路懇談会

日 時 平成17年3月19日(土) 13:00～

場 所 本校総合教育棟1階・第1講義室

次 第 (司会・進行:学生課長)

1. 校長あいさつ . . . . . 第1講義室
  2. 教職員紹介 . . . . . "
  3. 全体説明 (電子制御工学科主任) "
  4. 専攻科長あいさつ . . . . . "
- [各会場へ移動]

各学科別説明および個別懇談(各学科の指定教室及び教員室)

1. 各学科別説明 . . . . . 各学科指定教室
2. 個 別 懇 談 . . . . . 各教員室

[個別懇談終了後解散]

- |      |                                 |       |
|------|---------------------------------|-------|
| 配布資料 | (1) 平成16年度卒業生の進路状況表             | [資料1] |
|      | (2) 就職・求人等年度別状況一覧               | [資料2] |
|      | (3) 求人倍率の推移                     | [資料3] |
|      | (4) 全国大学・短大・高専等卒業予定者の<br>就職内定状況 | [資料4] |
|      | (5) 大学等進学(編入学)状況一覧              | [資料5] |
|      | (6) 各学科別卒業生・専攻科修了生の進路状況一覧       | [資料6] |

(出典 2005年度進路懇談会資料)

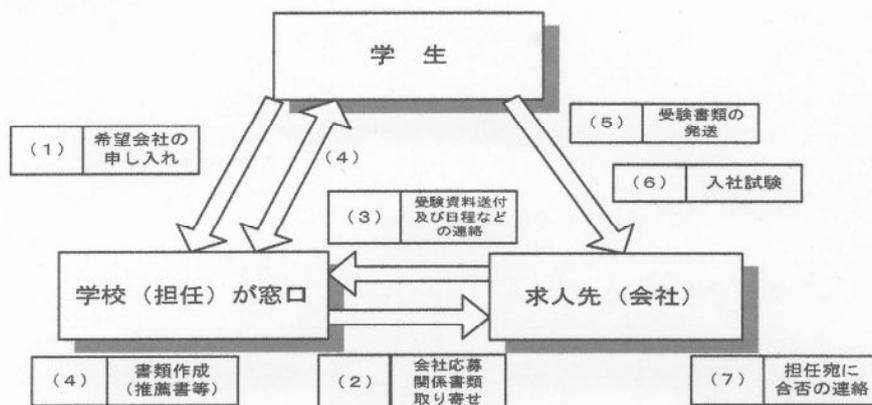
## 環境都市工学科進路懇談会用資料

## 就職及び進学への道筋

## 1. 就職活動の流れ

## (1) 学校推薦

高専の進路指導は、学校（担任）が窓口となります。従来、就職活動は、4月中旬頃より開始し、夏期休業明けにはほとんど内定しましたが、年々全体的に早まる傾向にあります。



- 1) 希望する求人先が決まれば、学生が担任に申し入れします。
- 2) 担任が求人先と連絡を取り、必要関係書類の取り寄せを行います。
- 3) 求人先から担任宛に入社試験関係書類送付、その後の日程等の連絡があります。
- 4) 担任が学生に指導しながら、入社試験用書類を作成します。
- 5) 学生から求人先に入社試験関係書類を送付します。
- 6) 学生が入社試験を受けます。
- 7) 後日、求人先より担任に合否の連絡があります。

注意：学校推薦の会社応募は、1社ごとの直列の応募スタイル

就職希望者で、本校の就職斡旋を希望する学生は、保護者と連署の上、「推薦願書（就職）」を担任に提出します。この願書では次の誓約をしてもらいます。

(1) 学校が正式に推薦した場合、求人先の選考に応じること

(2) 就職の学校推薦による応募は、原則として1社を受験して結果が出るまで、他社は受験しない

なお、「縁故」あるいは「自由応募」で就職活動し、学校推薦を必要とする場合でも上記の「推薦願書」の誓約を厳守していただきます。

## (2) 自由応募

学生が学校を介さずに、インターネット等を通して自由に求人に応募する形を自由応募といい、最近では高専でも増えてきました。学校推薦と自由応募で同時に就

(出典 2005年度環境都市工学科進路懇談会用資料2頁)

## 専攻科連絡会の案内

専攻科連絡会（平成17年度末） 資料 2006.3.6

専攻科生 各位

教 員 各位

## 専攻科連絡会(学年末)の開催について

専攻科長

1. 期 日 平成18年3月6日(月) 9時～9時50分
2. 場 所 階段教室
3. 内 容
  - ・ 学年度末と年度始めの行事と伝達事項  
特に、2年生：保管用特別研究論文(修正)提出，修了式関連伝達
  - ・ 春季休業中の諸注意
  - ・ 専攻科進路懇談会(1年生保護者)について
  - ・ J A B E E 修了生認定について
  - ・ その他

## 平成17年度学年末及び平成18年度始めの専攻科の行事

- |            |  |
|------------|--|
| 3月6日(月)    | 9:00 専攻科連絡会(年度末), 場所: 階段教室<br>10:00 専攻科プレゼンテーション賞表彰(校長室)           |
| 3月7日(火)    | 特別研究論文(修正)の提出(指導指導教員→各専攻主任→図書係, A4サイズ封筒にタイトル・氏名表書き)                |
| 3月7日～13日   | 特別研究(2年生)のポスター原稿作成(サイズ:A4、A3)→ポスター作製(サイズ:A1, 場所: ネットワーク情報センター室)→額入 |
| 3月10日(金)   | 専攻科修了認定会議・本科卒業認定会議<br>学位授与機構への学生課から単位取得証明書一括送付(2年生)                |
| 3月14日(火)   | 14:00 第4回テクノフォーラム(専攻科生有志ポスター展示)                                    |
| 3月15日(水)   | 専攻科英語実力試験実施(第3回最終日, 特別教室)(2年生)                                     |
| 3月17日(金)   | 専攻科実力認定試験結果報告の年度内締切(担当教員→学生課)                                      |
| 3月18日(土)   | 専攻科進路懇談会(対象: 専攻科1年生の保護者)   |
| 3月20日(月)   | 10:00 専攻科修了式・本科卒業式<br>(1年生, 各専攻10名程度参加)                            |
| 3月18日～4月7日 | 学年末休業(この間, 専攻科の進路相談と面接練習実施, 担当: 専攻科長, 各専攻主任, 希望者は事前連絡のこと)          |
| 4月10日(月)   | 10:00 入学式  |
| 4月11日(火)   | 8:50 始業式, 専攻科1年・2年のガイダンス   |
| 4月12日(水)   | 専攻科・本科ともに平常授業  |

(出典 環境都市工学科進路懇談会用資料(2005年度末)資料)

資料7 - 1 - - 8

## オフィスアワー実施記録

## オフィスアワー実績記録

所属 環境都市工学科

氏名 上村 繁 樹

日 時	学生氏名	内 容
平成17年4月11日 17:00 ~ 18:00		JR関係就職相談, 打ち合せ
平成17年4月12日 17:00 ~ 18:00		長岡技大・環境系に因り情報提供
平成17年4月13日 17:00 ~ 18:00		進路相談(就職)
平成17年4月14日 15:00 ~ 16:00		進路相談(長岡技大関係)
平成17年4月15日 17:00 ~ 17:30		進路相談(就職)
平成17年4月18日 17:00 ~ 18:00		” (推薦書作成)
平成17年4月19日 15:00 ~ 19:00		卒業研究指導, 進路相談
平成17年4月20日 17:00 ~ 18:00		進路相談(専攻科関係)
平成17年4月21日 17:00 ~ 18:00		同上
平成17年4月22日 17:00 ~ 18:00		進路相談(学校推薦関係)
平成17年4月25日 17:00 ~ 18:00		同上 (豊橋技大編入関係)
平成17年4月26日 15:00 ~ 19:00		卒業指導, 進路相談
平成17年4月27日 17:00 ~ 18:00		進路相談(とくに推薦書など)
平成17年4月28日 17:00 ~ 17:30		進路相談
平成17年5月6日 17:00 ~ 20:00		卒業指導
平成17年5月10日 15:00 ~ 19:00		同上
平成17年5月11日 17:00 ~ 18:30		環境工學実験の時間外指導
平成17年5月13日 17:00 ~ 18:00		進路相談(受験大学とのこと)
平成17年5月19日 17:00 ~ 19:00		同上(面接関係指導)
平成17年5月25日 17:00 ~ 18:00		大学についての情報交換
平成17年6月2日 18:00 ~ 18:30		大学についての情報交換
平成17年6月6日 10:00 ~ 11:00		試験についての相談など
平成17年6月13日 17:00 ~ 18:00		大学受験に関り相談

(出典 2005年度年度オフィスアワー実施状況一例)

専攻科生自己点検表

「生産システム工学」教育プログラム  
学習・教育目標達成度に関する学生自身による自己評価点検表

【目的】

この自己評価点検表は、学習・教育目標に関する達成度について学生が自己点検等を行い、その後の学習に役立てるためのもので、各段階で自己点検等を重ね、プログラム修了時には全ての項目に「3以上」がつくことが望まれます。

【記入上の注意】

- 1) 『「生産システム工学」教育プログラム 履修の手引』を参照しながら、下表の右欄に以下の数字を記入して下さい。  
 5 . . . . . 目標を十二分に達成できた。  
 4 . . . . . 目標を達成できた。  
 3 . . . . . 目標をほぼ(6割程度)達成できた。  
 2 . . . . . 目標を一部達成した。  
 1 . . . . . 目標を達成すべく努力中である。  
 - . . . . . 履修前または履修中である。
- 2) 「今後の学習目標」の欄には、その後の学習計画等について、具体的に記入して下さい。  
 3) 「指導教員の助言」の欄は、特別研究指導教員に記入を依頼してください。

学習・教育目標	評価基準	点検項目	専1年 6月	専2年 4月	プログラム 修了時
(A) 人間形成：健康な身体と精神を培い、社会に貢献するすぐれた人間として、幅広い教養をもとに、技術者としての責任を自覚し、その使命を履行しうる技術者	(A-1) 豊かな人間性と健康な心身を培う。	・健康や体力についての理解を深めるとともに、スポーツの実践を通して心身の調和的な発育・発達を促し、生涯スポーツの礎を構築できること ・文芸作品を通して、人々の生活を見つめ、他者の心を理解し、自分の考えを深められること	4		
	(A-2) 技術が自然や社会に及ぼす影響・効果を理解し、技術者としての責任を自覚する。	・歴史学習を通して技術者が持つべき社会観を構築できること ・技術に関する事故等の検討を通して、技術者としての社会的な責任と使命について理解できること ・環境問題と社会の関係についての概略を理解できること ・自然環境に関する基礎的事項を理解できること	2		
(B) 科学技術の修得と応用：自らの専門とする科学技術について、その基礎となる理論および原理を十分に理解し、境界領域にもすすんで活躍しうる技術者	(B-1) 数学および自然科学の基礎知識とそれらを用いた論理的思考能力を身につける。	・数学および自然科学の基礎知識を身につけ、それらを用いて応用問題を解けること ・実験を通して現象を理解できること	3		
	(B-2) 最も得意とする専門分野の知識と能力を身につける。	・各分野の基礎知識を身につけ、それらを用いて実際の工学的な現象を理解できること	2		
	(B-3) 異なる技術分野を理解し、得意とする専門分野の知識と複合する能力を身につける。	・異なる技術分野を理解し、得意とする専門分野の知識と複合するために、専門分野以外の工学の基礎知識を身につけること	1		
	(B-4) 実験や実習を通して実践的技術を身につける。	・実験・実習を通して、実際の工学現象を理解し、実践的技術を身につけること	2		
(C) コミュニケーション能力：国際化および高度情報化社会に柔軟に対応し、自らの考えを状況に応じた的確に表現しうる技術者	(C-1) 日本語の記述能力を身につける。	・国語表現の技法を身につけるとともに、語彙力を高め、場面や状況に応じた言葉で表現できること	2		
	(C-2) 情報技術を使いこなし、日本語による発表・討論ができる能力を身につける。	・コンピュータによる情報処理や情報収集等ができること ・コンピュータを用いて、卒業研究や専攻科特別研究の内容を発表・討論できること	3		
	(C-3) 国際的に通用するコミュニケーション基礎能力を身につける。	・国際的に活躍するための基礎的な語学力、特に英語力を身につけること	1		
(D) 創造力：自ら工夫して新しいものを造り出す研究開発型の技術者	卒業研究や専攻科特別研究などを通して、修得した知識をもとに創造性を発揮し、自発的に問題を解決する能力を身につける。	・修得した専門知識を用いること ・問題を解決するために、創意工夫して問題を解決できること	1		

資料7 - 1 - - 9 ( 2 / 2 )

## 今後の学習目標／指導教員の助言

学 生 名 \_\_\_\_\_

指導教員名 \_\_\_\_\_

点検 時期	今後の学習目標：学生が記入	
	指導教員の助言：教員が記入	
専攻科1年 6月	学 生	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄鋼排水に関する資料を集め、現在の処理方法、及び問題点を把握する。FD、DHSによる処理性能や適応性を実験により検討する。</li> <li>北海道大学の微小電極に関する論文を読み、アノード反応を改良する。</li> <li>対称電極の構成・反応機構について学び、自作する。</li> </ul>
	指 導 教 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄鋼排水処理に関しては、多くの研究が存在している。既存の研究とこれから行うべき研究の差を明らかにしておくこと。</li> <li>センサーについては、電気化学的知識がある程度必要であるので、よく勉強しておくこと。</li> </ul>
専攻科2年 4月	学 生	
	指 導 教 員	
専攻科 修了時	学 生	
	指 導 教 員	

( 出典 2005年度専攻科学習・教育目標達成度に関する学生自身による自己評価点検表 )

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程では担任を通じてシラバスや学生便覧などが説明される。1 学年で新入生合宿研修，3 学年で JABEE プログラムの説明，4 学年で就職・進学ガイダンスや OB 懇談会，専攻科で単位履修，学士論文，進路に向けたガイダンス等が用意されている。オフィスアワーにより，学生に対して自主的学習を進める上での細かな指導が行われている。以上，ガイダンスや学生相談・助言の体制が整備され機能している。

観点 7 - 1 - 1 : 自主的学習環境（例えば，自主学習スペース，図書館等が考えられる。）及び厚生施設，コミュニケーションスペース等のキャンパス生活環境等が整備され，効果的に利用されているか。

(観点に係る状況)

自主的学習環境として教室の他にコミュニティルーム(資料 7 - 1 - 1)，図書館，各研究室がある。図書館の利用方法は図書館利用のしおりにまとめられ，図書館カウンターで入手できる(資料 7 - 1 - 2)。図書館は十分な蔵書があり学生の自主学習に活用されている。図書館 2 階にはパソコンコーナーがあり全て学内の LAN に接続されている。図書館 3 階のビデオ室にはテレビビデオ 5 台と LD プレーヤー，オーディオが設置されている。ビデオ，CD などの視聴覚資料も多い(資料 7 - 1 - 3 ~ 4)。アンケートからも多くの学生に利用されていることが分かる(資料 7 - 1 - 5)。

ネットワーク情報センターには，10 台のワークステーション，49 台の端末機があり(資料 7 - 1 - 6)，授業以外でも学生に良く利用されている(資料 7 - 1 - 7)。

福利厚生施設としては，食堂(200 席)及び売店が整備されている(資料 7 - 1 - 8)。コミュニケーションスペースとしては，総合教育棟前広場，食堂前広場，食堂前テラス，中庭，総合教育棟ウッドテラス，学友会館等が整備されている(資料 7 - 1 - 9)。

資料7 - 1 - - 1

### コミュニティルーム



図書館利用のしおり

## 図書館利用のしおり

**開館時間**  
平日 9:00~20:00  
土曜日 12:00~17:00

**休館日**  
(日曜日・国民の祝日及び振替休日・年末年始・蔵書整理点検日等)  
※臨時に閉館及び読館時間の変更を行う事があります

〒292-0041  
千葉県木更津市清見台東2-11-1  
**木更津工業高等専門学校**  
☎0438-30-4009  
<http://www.kisarazu.ac.jp/>

---

**【図書の検索】**

1. 図書の分類

図書館では、日本十進分類法(NDC)を用いて図書を分類し、分類番号順に配架してあります。この分類法をよく知っていると必要な図書を書架からより早く探し出せます。

**図書分類法**

編目表(2次区分表)

000	総記(007 コンピュータ)	200	歴史	300	社会科学	400	自然科学
010	図書	100	哲学各論	310	政治	410	物理学
020	図書書誌学	110	西洋思想学	320	法律	420	数学
030	百科事典	120	東洋思想学	330	経済		
040	一般論文、講演集	130	西洋思想学	340	財政		
050	一次論文、年報	140	心理学	350	統計		
060	送次刊行物、年報	150	倫理学	360	社会		
070	学会、団体、研究調査機関	160	宗教学	370	数		
080	ジャーナリズム、新聞	170	神学	380	風俗習慣、民俗学		
090	叢書、全集	180	仏教	390	国防、軍事		
		190	キリスト教				

○ビデオ以外の利用(テレビ・CD)

カウンターの利用ノートに所定事項を記入し、ヘッドホン等を受け取り、利用してください。終わったらノートに記入し、返却してください。

◎パソコンコーナー

2階パソコンコーナーには5台のパソコンを配置してあります。すべて学内LANに接続されており、インターネットにアクセスすることもできます。(一般の方の利用はできません。)

「利用方法」

利用希望者はカウンターの利用ノートに所定事項を記入し、ヘッドホン等を用意に応じて受け取ったうえ、自由に利用してください。終わったらノートに記入し、ヘッドホン等をカウンターに返却してください。

・パソコンソフトの貸出はしていません。(各自持参してください)

◎図書購入希望

図書館で購入してほしい図書、ビデオソフト等がありましたら、カウンターにある「図書購入希望届」に記入し、カウンターに提出してください。

(出典 図書館利用のしおり)

- 350 -

図書館詳細

**図書館 LIBRARY**

学習と情報のセンター的役割を果たしているのが図書館である。この図書館は、昭和52年に開館し、全面開架式を採用し、利用者が希望する図書や雑誌を自由に書架から選び出して利用できる方式になっている。  
平成13年度から学外者にも開放している。

The library collects and Keeps books, periodicals, and other items to serve professors, staff, students and citizens in their educational and research activities.

The library Keeps over 70,000 volumes of books and subscribes to about 300 periodicals.

The library employs an entirely open stack system so that the users have free access to the collections.



▲閲覧室

**蔵書数 The Library's Collection (vols.)**

(平成17年4月1日現在) As of April 2005

分類	区分	和書 Japanese	洋書 Foreign	計 Total
総記 General		5,866 冊	564 冊	6,430 冊
哲学 Philosophy		3,246	411	3,657
歴史 History		4,438	568	5,006
社会科学 Social Science		4,464	567	5,031
自然科学 Natural Science		10,149	1,796	11,945
工学 Engineering		16,638	1,018	17,656
産業 Industry		478	60	538
芸術 Arts		2,799	313	3,112
語学 Language		3,709	1,167	4,876
文学 Literature		11,545	995	12,540
計 Total		63,332	7,459	70,791

**受入雑誌数 Periodicals (titles)**

(平成17年4月1日現在) As of April 2005

和雑誌 Japanese	洋雑誌 Foreign	計 Total
268 種	9 種	277 種

**視聴覚資料 Audio-Visual Materials**

(平成17年4月1日現在) As of April 2005

種	類	合計
ビデオテープ		307 巻
C	D	228 枚
レーザーディスク		23 枚
カセットテープ		291 巻
レコード (LP)		81 枚
C D - R O M		7 枚



### 図書館蔵書の貸出数

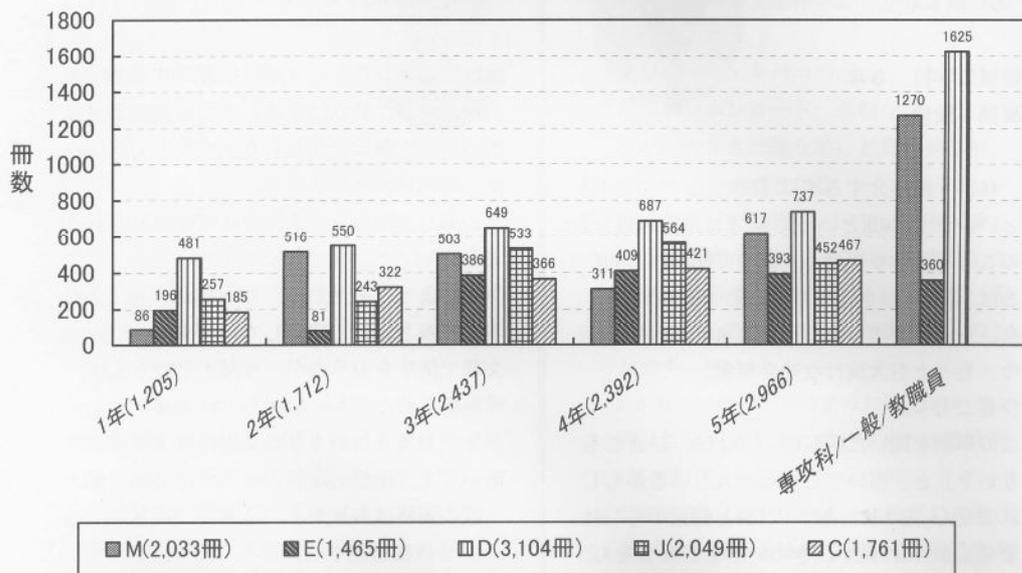
平成17年12月

図書館だより

第27号

### 平成16年度 クラス別貸出冊数

総計13,667冊



### 平成16年度 貸出冊数番付 (学年は平成17年度)

横綱	大関	関脇	関脇	小結	小結	前頭	前頭	前頭	前頭
4D	5D	3C	2D	3D	3C	3M	5D	4M	2J
122冊	121冊	105冊	105冊	99冊	98冊	96冊	94冊	94冊	90冊

### 平成17年度 図書館運営部会および学生図書委員会

図書館運営部会

学生図書委員会

図書館長 田村 和士(基礎)

図書委員長 [ ] (4J)

図書館運営部会委員

武長 玄次郎 (人文)

鈴木 道治 (基礎)

林田 和宏 (機械)

吉崎 静男 (電気電子)

坂元 周作 (電子制御)

米村 恵一 (情報)

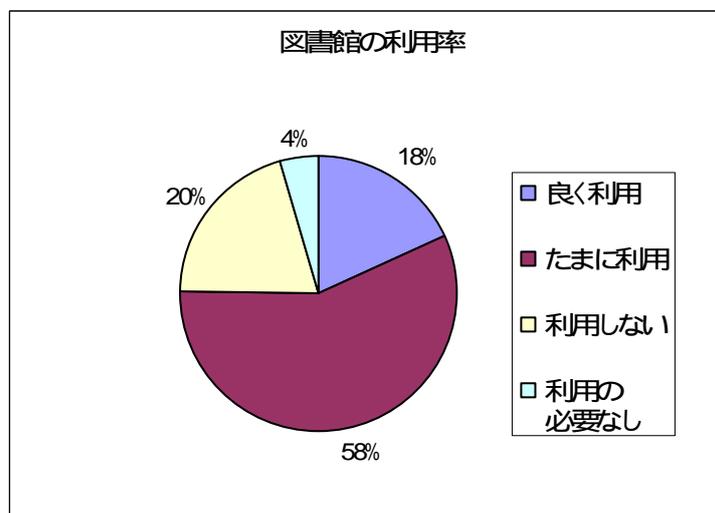
高石 斌夫 (環境都市)

クラス委員	機 械	電 気 電 子	電 子 制 御	情 報	環 境 都 市
1年					
2年					
3年					
4年					
5年					

(出典 図書館だより第27号15頁)

資料 7 - 1 - - 5

## 図書館利用アンケート結果

( 出典 本校認証評価の HP <http://www.inc.kisarazu.ac.jp/~nfukuchi/ninshou/index.htm> )

資料 7 - 1 - - 6

## ネットワーク情報センター

## ネットワーク情報センター INFORMATION NETWORK CENTER

本校にはおよそ 1,000 台のコンピュータがあり、その大半がキャンパス内に張り巡らされた光ケーブルからなるキャンパスネットワークに接続されている。

平成 14 年度よりキャンパスネットワークが更新され、ギガビットイーサネットによる高速な情報の伝送が可能となった。ネットワーク情報センターはこの中枢であり、キャンパスネットワークを管理するために 10 台のワークステーションを稼働し、電子メール、ホームページサイト、インターネットなどの機能を分担している。センター内の演習室には 49 台の端末機もあり、管理用に 20 台のワークステーションが稼働し、プログラミング演習、研究用計算に利用されている。また、デジタル専用回線により、他大学や研究機関を含めた広域ネットワークにも接続されている。

これにより全ての学生や教職員は、学内の多数の端末機（パソコンなど）から、いつでも高性能のコンピュータが利用でき、また、電子メールによる情報交換ができる。さらにインターネットにより国内外との電子メールの送受信や WWW ホームページにアクセスし、世界の最新情報を得ることができる。



▲ネットワーク情報センター演習室

There are approximately 1000 computers in this college, and the most is networked by the campus network which consists of an optical cable spread around within the campus.

The Campus Network is updated in april 2002 and high-speed transmission of information by Gigabit Ethernet is attained. The Network Information Center manages the central backbone of the Campus Network hosting 10 workstation which work such as E-mail, and www page site. 49 personal computers are provided as terminals in the laboratory at Information Network Center, and 20 workstations work to management.

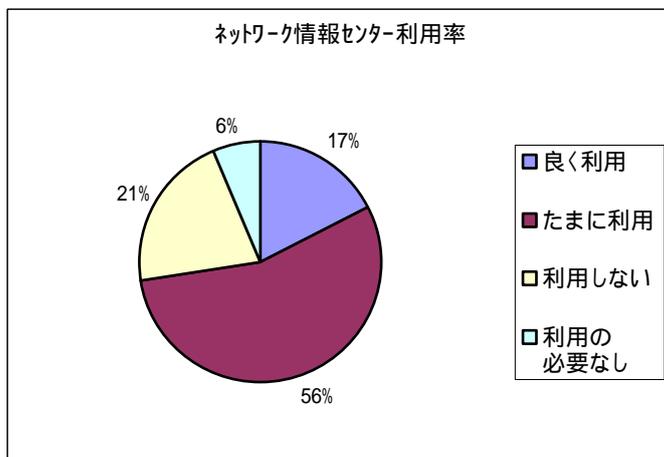
These computers are used for the programming exercise and the research computing. Moreover, the campus network is connected by a dedicated digital line to a wide area network which provides access to other academic and research institutes.

In such environment, all faculty members and students have access to high-spec host computers and Internet from any terminals or computers in the compus network, making most of the vast variety of information on Internet suchas E-mail,www,etc.

( 出典 学校要覧 2005 22 頁 )

資料 7 - 1 - - 7

### ネットワーク情報センター利用



( 出典 本校認証評価の HP <http://www.inc.kisarazu.ac.jp/~nfukuchi/ninshou/index.htm> )

資料 7 - 1 - - 8

### 福利厚生施設



コミュニティスペース



総合教育棟前広場



食堂前広場



食堂前テラス



中庭



総合教育棟ウッドテラス



学友会館

(分析結果とその根拠理由)

キャンパスの生活環境や福利厚生施設がよく整備され活用されている。図書館やネットワークセンターも整備され、多くの学生に利用されている。

観点 7 - 1 - : 学習支援に関する学生のニーズ（例えば資格試験や検定試験受講，外国留学等に関する学習支援等が考えられる。）が適切に把握されているか。

（観点に係る状況）

授業評価アンケートを随時行い，それに対するコメントを作成して学習支援のニーズ開拓をしている（資料 7 - 1 - - 1 ~ 2）。資格試験に対するニーズ等を開拓するアンケートも行っている（資料 7 - 1 - - 3）。「学生の声」箱を設置し，学生の生の声が直接校長等が届くシステムを整備している（資料 7 - 1 - - 4）。担任が抱える問題やクラスの学生から得られたニーズを共有できる担任会が全体及び各学年である（資料 7 - 1 - - 5）。学寮では年に 2 回寮役員学生を交えた学寮リーダー研修会を開き寮生の要望をくみ上げている（資料 7 - 1 - - 6）。学友会と学生委員会との打ち合わせ等も多く行われている（資料 7 - 1 - - 7）。

資料7-1-1

## 学生による授業評価アンケート一例

どちらの面に回答するのかわについては、担当教員の指示に従うこと

平成17年度 学生による授業評価アンケート (記述式: 既設10設問)		
※ 当アンケートは、授業方法および授業内容(科目/カリキュラム)の改善を目的として木更津高専が組織的に実施するものであり、回答した学生の成績評価等には一切関係しません。		
科目名: 工学	クラス: 4年 C科/専攻	回答日: 18年2月27日
教員名:	回答学生(記入は担当教員の指示による):	
設問1: あなた自身の授業に対する取り組みに満足していますか?		
積極的に出来た。		
設問2: 授業の進度や分かりやすさ等について満足していますか?		
わからないところはきちんと教えてくれたので、とても満足しています。		
設問3: 講義の内容について満足していますか?		
先にも述べたように、わかりやすく教えてくれたので、満足しています。		
設問4: 補助教材や配布資料等について満足していますか?		
わからなかったらまた、理解できないところもあったので、満足しています。		
設問5: 課題やレポート等について不満はないですか?		
自分にとって適当でした。		
設問6: 試験のレベル(難易度)に不満はないですか?		
とてもいいレベルでした。		
設問7: 成績評価方法について不満はないですか?		
満ちたと思います。		
設問8: この授業で(最も)満足を感じる点は何ですか?		
きちんと理解が深まるまで、教えてくれたので、とてもわかりやすかった。 また、進路の話をしてくれたので、とても参考になった。		
設問9: この授業で(最も)不満を感じる点は何ですか?		
先にも述べたように、非常に満足を感じているので不満な点はありません。		
設問10: その他、意見等あれば書いてください。		
これから5年でもお世話になると思いますが、このままの授業をさらにお願いします。		

(出典 学生による授業評価アンケート一例)

資料7 - 1 - - 2

## 学生による授業評価アンケートに対するコメント一例

授 業 科 目		区 分 ・ 単 位 数	必 須 ・ 2 単 位
開 設 学 科 学 系	環境都市工学科	授 業 形 態	講 義
受 講 年 科 ・ 学 期	環境都市工学科4年・後期	担 当 教 員	
教 科 書	プリントを配付		
補 助 教 科 書 等			
参 考 図 書			
学生による授業評価アンケートに対するコメント			
アンケート実施日：2月27日(水)5時限 アンケート形式：記述方式			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テストの平均点がだんだんと低下する傾向に会った。アンケートによると授業についていけなくなった学生もいるようである。次回からはペース配分等考慮したい。</li> <li>・ 配付プリントにほとんど必要なことを記載しているため、そのプリントにメモを書いて見直すように指導している。今回プリントに書き込みの余白が少ないとの指摘があったので、次回配付プリントは注意したい。</li> <li>・ 板書が見にくいという意見があった。注意したい。</li> <li>・ 水処理現場の見学を希望する声があったが、5年の実験で見学を入れているのでその時に。</li> </ul>			
次回開講時に向けての改善点等			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 . シラバスには健康関連微生物に関しての講義を行うべく記載したが、時間の都合上削除した。次回からは、さらに適切な範囲を考慮したい。</li> <li>2 . 座学だけであると、本質的なことがわからないので、見学などの機会があれば取り入れたい。</li> <li>3 . 高校生レベルの生物の基礎知識がどうしても必要なことがあるので、その部分の知識の欠如を補うために、資料の充実を図りたい。</li> </ol>			

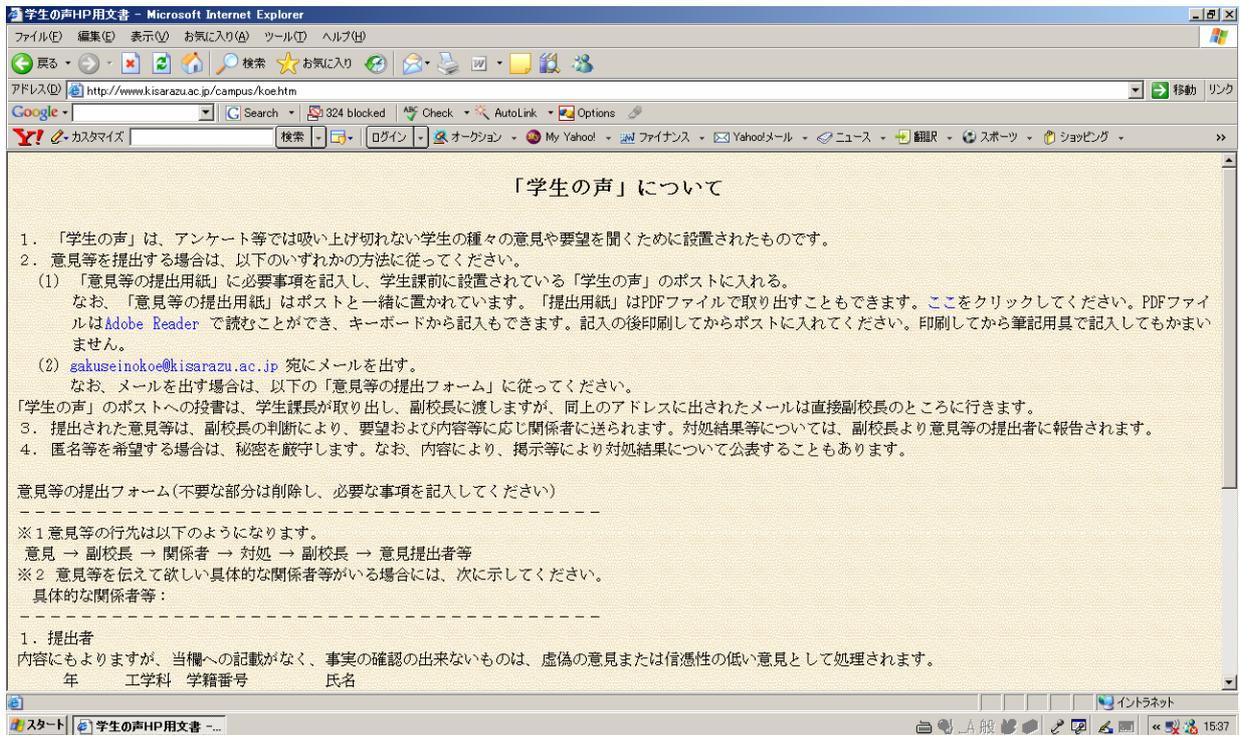
(出典 学生による授業評価アンケートに対するコメント一例)

## 学生アンケート調査用紙

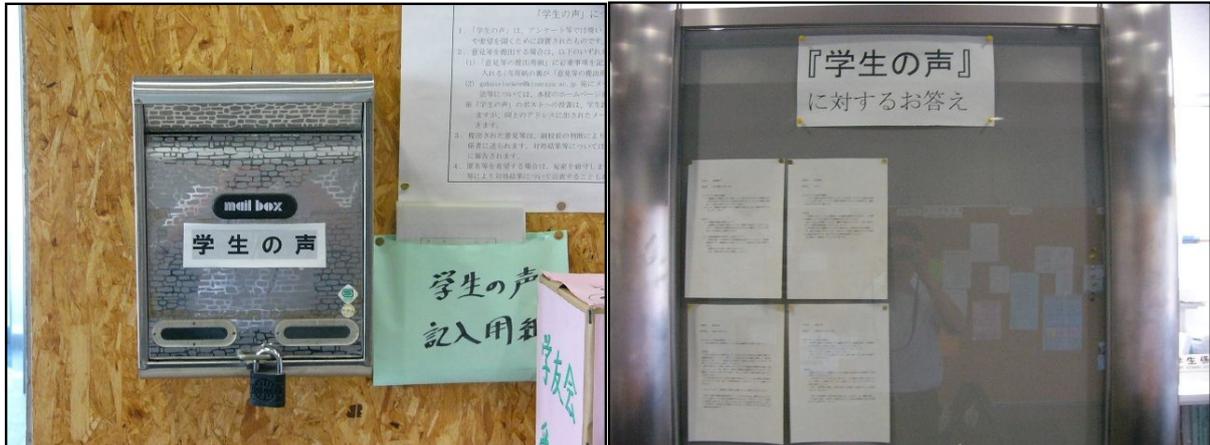
問	設問（選択肢）	回答欄
1	本校の教育方針を知っていますか。 1 よく知っている                      2 だいたい知っている 3 あまり知らない                      4 全く知らない	
2	準学士課程（本科1～5年）の学習・教育目標を知っていますか。 1 よく知っている                      2 だいたい知っている 3 あまり知らない                      4 全く知らない	
3	自分が所属する学科の専門科目の達成項目を知っていますか。 1 よく知っている                      2 だいたい知っている 3 あまり知らない                      4 全く知らない	
4	一般科目（人文学系）の達成項目を知っていますか。 1 よく知っている                      2 だいたい知っている 3 あまり知らない                      4 全く知らない	
5	一般科目（基礎学系）の達成項目を知っていますか。 1 よく知っている                      2 だいたい知っている 3 あまり知らない                      4 全く知らない	
6	図書館をよく利用しますか。 1 よく利用する                      2 たまに利用する 3 利用しない                      4 利用する必要がない	
7	合宿研修施設（いわゆる合宿所）をよく利用しますか。 1 よく利用する      2 たまに利用する      3 利用したことがない 4 利用する必要がない      5 合宿所があったことを知らなかった	
8	コミュニティールームをよく利用しますか。 1 よく利用する                      2 たまに利用する 3 利用しない                      4 利用する必要がない	
9	ネットワーク情報センターを授業以外でよく利用しますか。 1 よく利用する                      2 たまに利用する 3 利用しない                      4 利用する必要がない	
10	シラバスを使って授業内容を確認していますか。 1 よく確認する                      2 たまに確認する 3 あまり確認しない                      4 確認したことがない	
11	授業の評価方法をシラバスで確認したことがありますか。 1 よく確認する                      2 たまに確認する 3 あまり確認しない                      4 確認したことがない	
12	特別学修で、特定の資格を取ると単位として認定されることを知っていますか。 1 既に資格を取得し単位認定された      2 現在、資格取得の為に勉強中である 3 取りたい資格がない                      4 この制度を知らなかった	
13	特別学修において単位認定してほしい資格があれば書いてください（複数可）	

（出典 学生アンケート調査用紙）

## 学生の声



(出典 木更津高専ホームページ <http://www.kisarazu.ac.jp/campus/koe.htm>)



## 担任会実施記録

## 平成17年度担任会実施記録

第 1 学 年

回数	月 日	概要
1	2月10日	新入生合宿研修の内容についての打ち合わせ
2	2月17日	新入生合宿研修の内容についての打ち合わせ
3	2月28日	新入生合宿研修の内容についての打ち合わせ
4	4月6日	始業式、オリエンテーションなどの日程についての打ち合わせ
5	4月25日	各クラスでの現在の様子についての報告会など
6	5月2日	1年の問題行動について
7	5月9日	6月のエイズ講習会についての打ち合わせなど
8	5月16日	6月のエイズ講習会についての打ち合わせ / 合宿研修の感想文などについて
9	5月30日	1年学園祭企画についての打ち合わせなど
10	6月20日	前期中間試験の結果についての扱い / 保護者面談についての情報交換
11	7月4日	1年の問題行動について
12	10月4日	最近の各クラスの状況についての意見交換
13	10月24日	1年のいじめ問題について
14	11月14日	最近の各クラスの状況についての意見交換
15	12月6日	3月の校外見学について / 交通講話についての打ち合わせ
16	1月16日	交通講話についての打ち合わせなど
17	2月 6日	来年度1年担任会との意見交換
18	3月 9日	学年末に起きた一連の事件について
19	3月 15日	来年度2年担任会との引継ぎ
20		

( 出典 2005 年度第 1 学年担任会実施記録 )

## 2005年度春季学寮リーダー研修会資料

### 春季学寮リーダー研修会

寮務主事

#### 1. 目的

- ① リーダーの自治能力の助長
- ② 望ましい集団生活の探求
- ③ 学寮のモラルの向上
- ④ 寮務委員教員との親睦と融和

2. 期 日 平成18年2月25日(土) 9:00~16:10

3. 場 所 第1会議室・第2会議室

4. 参加者 寮 生：男子(会長、寮長、副寮長、群長、副群長、寮役員)  
(平成18年度)  
女子(寮長、副寮長、群長、寮役員)(平成18年度)  
教職員：寮務主事、寮務主事補、寮務委員、(平成17・18  
年度)、学生課長、学生課課長補佐、寮務係長、寮務係員

#### 5. 研修内容

##### (1) 学寮運営方針の説明

- ・来年度の指導目標について
- ・基本3方針(寮生の安全、健全な修学、円滑な集団生活)と低学年指導の充実

##### (2) 討議題

- ・学寮行事予定について
- ・各群の生活規範について
- ・各種委員会の活動予定について
- ・その他

(出典 2005年度春季学寮リーダー研修会資料1頁)

資料 7 - 1 - - 7

## 学友会と学生委員会の懇談・打ち合わせの例

平成 17 年 11 月 24 日

11 月 24 日（木）の選挙管理委員会ですべきこと

学友会担当：

## 出席の確認

3 分の 2 以上の出席が必要である。

## 本日の開催についての説明

年内に来年度中央委員を選出するには、今日がタイムリミットである。学友会規約第 41 条（中央委員会による議決）により召集している。

## 委員長，副委員長を選出する

委員長は 4 年生，副委員長は 3 年生が望ましい。以下の進行を任せる。

今後の日程について，中央委員会・学友会担当教員案を提案

日 時	内 容
11/25（金） 17：00	選挙開催の公示（投票日 2 週間以上前）
12/2（金） 12：30	立候補締めきり（投票日 10 日前）
12/13（火） 12：30	投票（各クラス同時投票が望ましい） 但し，5 年生については都合の良い時間に投票する。
12/13（火） 15：20	開票および集計（各クラスの選挙管理委員が開票し，集計結果を委員長に報告）
12/15（木） 15：20	第一体育館にて投票結果発表，選出者（会長，副会長のみ）挨拶。

なお，この日程で行うとすると，選挙管理委員会を以下の日程で行う。

12/12（月） 17：00～ 選挙準備（投票要項，投票用紙，投票袋受け取り）

12/13（火） 15：20～ 開票作業，集計作業

12/15（木）集会終了後 選挙結果の掲示

以上について，選挙管理委員会で議決を取る（出席者の賛成多数で良い）。

各クラス委員へ以下の件を伝達

立候補の意思があるものは，公示日に各クラスに掲示される掲示や，学生便覧の「学友会選挙細則」をよく読んで，所定の手続きを取るよう指示。

委員長，副委員長を教官室に呼ぶ（以後の作業を伝達）

以上

（出典 2005 年度学生主事補と学友会打ち合わせ資料）

(分析結果とその根拠理由)

授業評価アンケートや学生に対する包括的アンケートの実施、「学生の声」箱の設置等、学習支援のニーズ開拓をしている。学級担任による情報交換の場として全体及び各学年で担任会を行っている。学寮リーダー研修会や学友会との懇談会により、教員が学生から直接要望をくみ上げている。よって学生のニーズが適切に把握されている。

観点 7 - 1 - : 資格試験や検定試験受講、外国留学のための支援体制が整備され、機能しているか。

(観点到に係る状況)

資格・検定の取得を特別学修として単位認定する制度が整備され、単位認定者が増加している(資料 7 - 1 - - 1 ~ 2)。外国留学を支援するための規則が学生便覧に記載され整備されている(資料 7 - 1 - - 3)。

資料 7 - 1 - - 1

## 特別学修の案内

### 1 - 12 特別学修

本校では、平成 13 年度より**特別学修**という科目が開設されています。この科目は他の一般的な科目とは大きく異なる部分もあるため、これらの履修方法等について以下に示します。

#### (1) 特別学修の区分及び内容

特別学修とは、選択科目として、一般科目と専門科目の両方に開設された授業科目です。履修数に上限はありませんが、**一般及び専門の特別学修と本校以外の教育施設における学修(1 - 13 参照)**を合わせて最大 10 単位までが、選択科目としての扱いを受けます。

なお、これらの内容については、次の ~ に分類されますが、個々の詳細については、**教育課程表(1 - 17 参照)**中の**特別学修一覧表及びシラバス**を参照してください。

**技能審査・資格検定等    ロボコンなどの創造的活動    教育支援活動    ボランティア活動**

#### (2) 履修形態及び単位取得方法

授業時間：原則として、火・木曜日の 7・8 時限に実施する。ただし、ロボコン等、規定の時間外にも実施されるものが多いため、各科目の**シラバス**で確認すること。

履修登録：原則として、4 月末日までに**シラバス**に記載された指導教員のところに行き、指示を仰ぐこと。

(出典 平成 18 年度学生便覧 7~8 頁)

特別学修による単位認定申請一覧

平成17年度 特別学修による単位認定申請一覧

数	科	年	学籍番号	氏名	表記(項目分野試験名等:合格級等)	合格等年月日	評価	評語	単位数	備考(認定省庁・代替等)		
1	M	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
2	M	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
3	M	5			工業英検	3級	17.6.13	90	A	2	一般	文部科学省
4	M	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	3級合格による同時認定
5	M	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
6	M	5			ドイツ語検定	4級	18.2.15	90	A	1	一般	指導教員:荒木
7	M	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
8	M	5			TOEIC	初級	17.9.3	80	A	1	一般	指導教員:小澤
9	M	5			TOEIC	初級	17.5.7	90	A	1	一般	指導教員:小澤
10	M	5			TOEIC	中級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員:小澤
11	M	5			TOEIC	初級	17.5.7	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
12	M	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
13	M	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
14	M	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
15	M	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
16	M	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
17	M	5			TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員:小澤
18	M	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
19	M	5			危険物取扱者	乙種第4類	17.12.13	90	A	1	専門	総務省
20	M	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
21	M	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
22	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
23	E	5			ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
24	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
25	E	5			TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員:小澤
26	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
27	E	5			デジタル検定	3級	17.6.26	90	A	1	専門	文部科学省
28	E	5			ラジオ・音響検定	3級	17.11.13	90	A	1	専門	文部科学省
29	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
30	E	5			ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
31	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
32	E	5			ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
33	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
34	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
35	E	5			ボランティア活動	社会福祉	18.2.7	90	A	1	一般	指導教員:高橋
36	E	5			情報処理技術者	初級ｼｽﾄﾑ	17.5.16	90	A	1	専門	経済産業省
37	E	5			TOEIC	初級	17.9.3	80	A	1	一般	指導教員:小澤
38	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
39	E	5			工業英検	4級	18.2.6	90	A	1	一般	文部科学省
40	D	5			TOEIC	中級	17.3.27	80	A	1	一般	指導教員:小澤
41	D	5			TOEIC	初級	17.3.27	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
42	D	5			TOEIC	初級	18.1.21	90	A	1	一般	指導教員:小澤
43	J	5			技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員:大枝
44	J	5			漢字検定	2級	17.7.11	90	A	1	一般	文部科学省
45	J	5			TOEIC	中級	18.1.21	90	A	1	一般	指導教員:小澤
46	J	5			TOEIC	初級	18.1.21	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
47	J	5			情報処理技術者	基本技術	17.5.16	90	A	1	専門	経済産業省
48	J	5			技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員:大枝
49	J	5			情報処理技術者	基本技術	17.11.11	90	A	1	専門	経済産業省
50	J	5			技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員:大枝
51	J	5			TOEIC	中級	17.11.19	80	A	1	一般	指導教員:小澤
52	J	5			TOEIC	初級	17.11.19	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
53	J	5			TOEIC	中級	18.1.21	100	A	1	一般	指導教員:小澤
54	J	5			TOEIC	初級	18.1.21	100	A	1	一般	中級合格による同時認定
55	J	5			工業英検	3級	17.6.13	90	A	2	一般	文部科学省
56	J	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	3級合格による同時認定
57	J	5			技術イベント活動	プロコン	18.1.24	85	A	1	一般	指導教員:大枝
58	J	5			情報処理技術者	初級ｼｽﾄﾑ	17.5.16	90	A	1	専門	経済産業省
59	C	5			TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員:小澤
60	C	5			実用英検	準2級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
61	C	5			TOEIC	初級	17.5.7	90	A	1	一般	指導教員:小澤
62	C	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
63	C	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
64	C	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
65	C	5			TOEIC	初級	17.5.7	90	A	1	一般	指導教員:小澤
66	C	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
67	C	5			漢字検定	2級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
68	C	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
69	C	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省
70	C	5			TOEIC	中級	18.1.21	90	A	1	一般	指導教員:小澤
71	C	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
72	C	5			実用英検	準2級	17.11.18	90	A	1	一般	文部科学省
73	C	5			工業英検	4級	17.6.13	90	A	1	一般	文部科学省
74	C	5			TOEIC	初級	17.5.7	80	A	1	一般	指導教員:小澤
75	C	5			工業英検	4級	17.12.2	90	A	1	一般	文部科学省

(出典 2005年度特別学修による単位認定申請一覧一部抜粋)

## 留学に関する規定

### 6 - 1 0 留 学 規 程

(趣 旨)

**第1条** この規程は、木更津工業高等専門学校学則第26条の2第4項の規定に基づき、本校学生の外国の高等学校又は大学への留学(以下「留学」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(許可基準)

**第2条** 留学は、次の各号に該当する場合に許可するものとする。

- (1) 留学先の高等学校又は大学が、正規の教育機関であり体系的な教育課程を有していること。
- (2) 前号の高等学校又は大学に在籍することを許可されていること。
- (3) 留学の目的、理由等が当該学生にとって教育上有益であると認められること。

(申請及び許可)

**第3条** 留学しようとする者は、原則として、出国3か月前までに留学願(別紙様式1)に、次に掲げる書類を添えて校長に提出しなければならない。

- (1) 留学希望先の学校規模、沿革、教育方針、教育課程等が記載されている書類
- (2) その他校長が必要と認める書類

2 前項の願い出があったときは、校長は、教務委員会の議に付し前条各号の基準を満たしているものについて、これを許可するものとする。

3 前項の許可をした場合において、出国前に留学の許可基準に該当しなくなったときは、その許可を取り消すことがある。

(期 間)

**第4条** 留学の期間は、10か月以上1年以内とする。ただし、特別の理由があると認められる場合は、留学期間の短縮及び1年以内の延長を認めることがある。

2 留学期間を短縮又は延長しようとするときは、留学期間変更願(別紙様式2)を校長に提出し、その許可を受けなければならない。

(終了及び復学)

**第5条** 留学期間が終了したときは、すみやかに復学願(別紙様式3)に、次に掲げる書類を添えて校長に提出し、その許可を受けなければならない。

- (1) 留学先の高等学校又は大学の発行する教科科目の履修、出欠の状況及び成績等の証明書
- (2) 本人の留学に関する報告書

**第6条** 復学の際の学年については、教務委員会の審査の結果に基づき、校長が決定するものとする。

(単位の認定)

**第7条** 留学中の履修に係る単位の認定は、個々の科目について行わず、当該留学生在が高等学校又は大学において良好に履修したと認められる場合は、一括して30単位を認め、評価は行わない。

2 留学期間の短縮を許可した場合において、当該留学期間が第4条第1項本文に定める期間に満たなくなったときは、前項の単位認定は行わない。

(卒業時の修得単位の特例)

**第8条** 留学中の履修に係る単位の認定を受けた者について、卒業時に167単位以上の単位を修得しているときは、卒業を認めることができるものとする。

(雑 則)

**第9条** この規程の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成元年9月14日から施行する。

### 6 - 1 1 留 学 取 扱 要 領

1. 本校における留学に関する取扱いについては、木更津工業高等専門学校留学規定(以下「規定」という。)第9条の規定に基づき、この要領の定めるところによるものとする。

2. 留学の許可は、当分の間、第1学年から第3学年までに在籍するものを対象とする。

3. 復学後の学生は、原則として留学時の学年の1年上の学年とする。

4. 規定第7条に定める単位の認定は、留学当初に在籍する学年について、認定するものとする。

5. 許可された留学の期間は、出席扱いとする。

6. 学籍簿には留学先、期間及び認定単位のみ記載する。

附 則

この取扱要領は、平成元年9月14日から適用する。

(出典 平成17年度学生便覧92~94頁)

(分析結果とその根拠理由)

資格・検定の取得を単位化する制度が整備され、多くの学生が申請している(2005年度実績260件)。学生の外国留学についての規程も整備されており、十分な支援体制が組まれている。

観点 7 - 1 - : 特別な学習支援が必要な者(例えば、留学生、編入学生、社会人学生、障害のある学生等が考えられる。)がいる場合には、学習支援体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

留学生にはチューター制度を設け、学習・生活支援を行っている。チューターにはチューターマニュアルを配付し(資料7-1--1)、定期的に留学生指導報告書を提出させている(資料7-1--2)。留学生に対する専門科目に関する学習指導を一貫して行うために、各留学生に対応して留学生指導教員を置いている(資料7-1--3)。国際交流委員会を設置し、定期的に見学会や卒業留学生との懇談会、近隣住民との交流会などを開催している(資料7-1--4)。留学生には、日本語・日本事情の2科目が教育課程に組み込まれ(資料7-1--3)、必要に応じて補習が行われている(資料7-1--5)。

普通高校・工業高校からの4学年編入生には、合格決定から編入学までの期間に、必要な科目の学習のための資料を配付し、編入学後も必要があれば補習を行っている(ここ3年間例がないので資料の提示なし)。必要に応じて学習不振の学生の補習を行っている(資料7-1--6)。

## チューターマニュアル

### 1. はじめに

皆さん、このたびは留学生のチューター（学生相談員）をお引き受けいただき、ありがとうございます。皆さんは、チューター活動に大きな抱負を抱き、積極的に取り組もうとしておられるでしょう。しかし、おそらく皆さんの多くが、チューターは初めての経験ではないかと思われます。チューターとして何をしたらよいのか、あれこれとを思いめぐらせ、一抹の不安を抱いておられるかも知れません。

チューター制度は文部省の制度によって定められております。本校では、外国人留学生特別規程第6条に学生相談員として定められています。（学生便覧を参照してください）

チューターとなった皆さんが、このチューター制度の目的を理解され、その役目を不安や迷い、大きな負担を感じることなく果たせるよう、少しでも参考になり、指針となればと思っています。このマニュアルを活用し、この制度を実りあるものにするよう、願っています。

ここに記された事項は、あくまでも参考にすぎませんので、これらにとらわれる必要はありません。若い皆さんの情熱、知性、感性と創意工夫を活かした活動を期待するとともに、チューター活動を通じて得た皆さんの貴重なご意見等を遠慮なく、お聞きかせください。

### 2. チューター制度とその目的

外国人留学生（以下、「留学生」といいます。）が、来日後（又は、自国において）、短期間に日本語を習熟し、日本の習慣に慣れ、学習、研究の効果を上げるためには、学習はいうに及ばず、日常生活にもきめ細かい長時間にわたる対話、助言、指導等交流が必要です。このような助言、又は個別指導を行うのは教官だけでは、困難な面もあり、これを補助するために、このチューター制度が設けられています。

したがって、本校では留学生が、授業に関する理解や学生生活、あるいは地域の社会生活に一日も早く慣れるように積極的に、助力し、または悩みごと等の相談に乗ってあげたりするのが、チューター活動の目的と考えています。

以上述べた制度の目的から明らかなように、チューター活動の対象となる留学生は、編入学後の2年間となっています。

以下具体的に述べてみましょう。

#### 案内者として

本校での学習生活が円滑に進められるように手助けをする。カリキュラムに従って単位が修得できるように、また、種々の校内手続きの書類作成などについて、自らの経験を踏まえて助言する。

さらに、図書館をはじめとする校内施設の利用方法を教える。また、外部機関（図書館、運動施設、博物館等）の利用方法等を必要に応じて案内する。

#### 先生として

身近にいて、同じ専門分野で、同じクラスで教科を勉強している者として、家庭教師的に、あるいは一緒に学習する者として、友人として、留学生が十分に理解できない箇所を説明し、

（出典 2005年度チューターマニュアル1頁）

留学生指導報告書

留 学 生 指 導 報 告 書

平成 17 年 10 月 1 日

学生相談員 環 形 工 学 科 第 3 学 年

氏 名 \_\_\_\_\_ (印)

留学生氏名 \_\_\_\_\_

指導教員  
自 署  
(印)

平成 17 年 10 月分の指導を下記のとおり実施したので、報告します。

日	曜	指 導 時 間	時 数	指 導 内 容
1	土	13:00 ~ 15:00	2	旅行の準備
2	日	14:00 ~ 16:00	2	" さいふ
7	金	17:00 ~ 24:00	7	
8	土	0:00 ~ 24:00	24	長野県へ温泉旅行のため、
9	日	0:00 ~ 24:00	24	在。(アルバイト)
10	月	0:00 ~ 20:00	20	
19	水	20:00 ~ 23:00	3	前夜直前の指導
22	土	20:00 ~ 22:00	2	土曜前夜の指導
23	日	21:00 ~ 24:00	3	土曜前夜の指導
		~		
		~		
		~		
		~		
		~		
		~		
		~		
		~		

【注意】 (1) 指導時間は、実際に指導した時間(20時間以上)を記入する。  
 (2) 指導内容は、実際に指導した内容を具体的に記入する。  
 (3) 指導報告書は、必ず当月分を翌月の5日までに指導員へ提出する。  
 また、指導教員は速やかに学生室へ提出してください。

留学生指導報告書付表

1. 学習面での助言・指導において感じたこと。

学習面においては、もう何も口を出さなくても、自主的にレポートや宿題をこなせるようになってきた。

2. 日常生活での助言・指導において感じたこと。

今回は、お祭りに見たいと言っていた(メニューは飲み物以外)長野県の高原へ旅行に行き、その際の日本での宿泊施設の予約や、切符の予約の仕方などを指導した。また、今回の宿泊代や旅行費を有利にこなすために、事前にアルバイトをしておき、お客さんとのコミュニケーション等を、はじめはとまどっていたが、お祭りに来たお客さんともよく話している。今回の旅行(アルバイト)は、これまでにいい経験になったと思う。

【指導教員記入】

1. 留学生及び学生相談員の指導等について感じたこと。

日本の生活にも大分慣れ、エンターテインメントを楽しんでいる様子がある。

( 出 典 2005 年度留学生指導報告書 )

## 留学生に関する規則

## 6-9 外国人留学生特例規程

(趣 旨)

**第 1 条** この規程は、学則第 50 条の規定に基づき、外国人留学生（以下「留学生」という。）の入学、教育課程その他に関する特例を定めたものである。

(入学)

**第 2 条** 留学生は、定員外として、第 3 学年に入学を許可するものとする。

(教育課程)

**第 3 条** 留学生のために、別表に定める授業科目を必要に応じて開設するものとする。個々で修得した単位は、学則別表第 1 のうち、第 3 学年、第 4 学年及び第 5 学年における自然の分野及び英語、保健・体育に関する授業科目を除く各授業科目と振替えることができる。

2 留学生の第 3 学年における教育課程は、特別活動のほか、第 3 学年までに修得すべき専門科目の履修に特に必要な基礎学力を養うため、別表並びに学則別表第 1 及び別表第 2 に定める授業科目により特別に編成するものとする。

3 留学生の第 4 学年及び第 5 学年における教育課程は、別表並びに学則別表第 1 及び別表第 2 に定める授業科目により編成するものとする。

(授業料等)

**第 4 条** 国費外国人留学生については、授業料、入学料及び検定料は徴収しない。

(留学生指導教員)

**第 5 条** 留学生に対する専門科目に関する学習指導を一貫して行うため、各留学生に対して、留学生指導教員（以下「指導教員」という。）を置く。

2 前項の指導教員は、当該学科の教員の中から、学科主任の推薦に基づき、校長が指名する。

(学生相談員)

**第 6 条** 学校生活及び個人生活について留学生に助言を与えるため、入学後最初の二年間について各留学生に対して、学生相談員を置く。

2 前項の学生相談員は、当該留学生と同一学科の第 3 学年以上の学生の中から、学科主任及び指導教員の推薦に基づき、校長が委嘱する。

3 学生相談員は、その職務に関し、必要に応じて学生主事、寮務主事または指導教員に連絡し、その指導を受けるものとする。

(住居)

**第 7 条** 留学生は、原則として学寮に居住するものとする。この場合には、前条の学生相談員は寮生である者とする。

(世話係)

**第 8 条** 留学生の補導と生活上の世話をを行うため、学生課の職員の中から、校長が指名する。

2 前項の世話係は、学生課の職員の中から、校長が指名する。

別表 (各学科共通)

授 業 科 目	単 位 数	備 考
日 本 語	2	
日 本 語	2	
日 本 語	2	
日 本 事 情	2	
日 本 事 情	2	
日 本 事 情	2	

(出典 平成 17 年度学生便覧 90 ~ 91 頁)

## 留学生見学会懇談会等の記録

木更津工業高等専門学校

留学生文集

UHO・友報

No.18

Mar.

2006

とわかる。

文化が理解できるようになると、相手の考え方なども自然にわかるようになる。もし、相手の立場などを理解したら、けんかする必要もなくなるのではないのでしょうか。その上、外国語の勉強を通して、異なる文化の人の長所も自分に取り入れることができる。

以上のように、外国語を勉強しようという気持ちは世界の平和への第一歩だと私は強く思っている。

## 留学生年間行事

## 留学生実地見学旅行

平成17年3月7日(月)～8日(火)の一泊二日の日程で留学生6名と教職員2名で、静岡県伊豆方面への留学生実地見学旅行を行いました。

3月7日は昼食後に、広く荘厳な雰囲気のある三島大社の境内を見学した後、柿田川湧水等を見学して近くの宿に泊まりました。

翌8日は午前中に韮山反射炉、江川邸を見学した後、天城ループ橋を通り、河津七滝を散策し、河津駅前の河津桜を見学した後、帰途につきました。

今回の見学は晴天に恵まれ美しい風景を通して日本の歴史・風土に十分親しむことが出来たと思います。



柿田川にて

## 新入留学生を迎える会

本校3年に受け入れる新入留学生の歓迎と、先輩留学生や学生相談員、教職員との相互交流を企図して、4月26日(火)に新入留学生を迎える会を開催しました。

当日は5名の新入留学生をはじめとして、在校留学生8名、学生相談員10名、関係教職員18名の計41名が出席し、河上校長のあいさつに始まり、新入留学生より順次出席者全員の自己紹介を行った後、5年留学生キーさんの進行により軽食をとりながら懇談会に移行しました。先輩留学生の貴重な体験談や指導教員のアドバイスなどが話され、終始和やかな雰囲気のなかで1時間半ほどで閉会としました。新入留学生にとっては本校にとけ込む良い機会になりました。



## 留学生交流潮干狩り

6月19日(日)に木更津海岸において交流潮干狩りを実施しました。

当日は梅雨の中休みの晴天に恵まれ、留学生10名、指導学生7名、教職員4名の21名が参加しました。

9時頃に海岸に入り、いくつかのグループに分かれて語らいながら、アサリ掘りを行い

ましたが、1時間半程で潮が上がってきたため切り上げました。例年と比べて収穫は少なかったですが、潮風の中で、留学生と指導学生、教職員が楽しく交流できた良い機会でした。



### 留学生交流ボウリング大会

6月28日(火)に恒例の留学生交流ボウリング大会を市内のクラカタアクアボウルにて開催しました。この大会は、留学生、指導学生及び関係する教職員が相互の交流を深めるために毎年実施しているもので、今年度は11名の留学生と指導学生10名、教職員12名の33名が参加して2ゲームにより行いました。経験によりスコアには差が出ましたが、楽しくかつ有意義なひとときを過ごすことができました。

1位から3位、プービーの留学生と指導学生の1・2位にはそれぞれ賞品が贈られました。



### 卒業した留学生との懇談会

留学生間の交流促進や進路指導等を目的として、毎年秋の学園祭時に卒業した留学生を招き、在校留学生や留学生関係教職員との懇談会を実施しています。

本年は10月29日(土)に4名の卒業生(社会人2名、大学生1名、大学院生1名)に来ていただき、軽食をとりながら、高専在学中の勉強から寮生活に関する事、大学編入学後の勉強や、更に社会人としての心構えに至るまで、先輩としての貴重なアドバイスをいただくとともに熱心な意見交換が行われました。

在校留学生諸君にとってはとても将来に向かって有意義な機会となりました。



## 留学生日帰りバス見学

毎年秋には留学生に日本の歴史や文化に親しみ、また留学生同士、指導学生及び教職員との親睦交流を図る目的で留学生日帰りバス見学を実施しています。

本年は11月27日(日)に留学生、指導学生、関係教職員計32名が参加し、群馬県の奥利根周辺への見学を実施しました。

当日は晴天に恵まれる中、東京湾アクアラインから首都高速を通り、大泉インターより関越自動車道に入り、水上インターで下車してすぐの道の駅水紀行館に到着。場内にある水産学習館を見学し、昼食をとった後、更に利根川をさかのぼり、首都圏に電力供給をしている須田貝地下発電所を見学しました。地下40mにあるタービンの迫力に圧倒され、また、地上では冬の訪れを告げる小雪の舞う中帰路につき、18時頃学校へ戻りました。



在校生名簿(2005年4月1日現在)

学年	学科	国籍	氏名	呼名	学年	学科	国籍	氏名	呼名
5	電気電子	マレーシア			4	情報	イラン		
5	電子制御	マレーシア			3	機械	マレーシア		
5	情報	インドネシア			3	電気電子	ウガンダ		
4	機械	マレーシア			3	情報	マレーシア		
4	電気電子	マレーシア			3	環境都市	ラオス		
4	電子制御	バングラデシュ			3	環境都市	マレーシア		
4	電子制御	マレーシア							

Kisarazu National College of Technology

2-11-1 KIYOMIDAI-HIGASHI, KISARAZU, CHIBA, 292-0041 JAPAN (TEL 0438-30-4000)

国立木更津工業高等専門学校 国際交流委員会 発行 2005年度 留学生文集 UHO・友報

(出典 UHO・友報 木更津高専留学生文集 No.18 2006 18~19頁)

## 地域との交流

### 留学生ホームステイ

7月9日(土)~10日(日)に木更津市国際交流協会(KIFA)の主催する留学生ホームステイに3年生5名が参加しました。

### 近隣小学校児童との交流

昨年度に引き続き、7月19日(火)と平成18年1月24日(火)の臨時休業日を利用して市内の岩根小学校主催のワールド集会に8名の留学生が参加し、小学校児童と交流の機会をもちました。

昨年と同様にそれぞれの国ごとに分かれて自己紹介や出身国の紹介などを行い、多くの質問に答えたり、ゲームを楽しんだりした後、教室で一緒に昼食をとるなど、楽しい時間を過ごすことができました。

後日、児童たちからお礼の手紙や写真が届きました。

資料7 - 1 - - 5

## 留学生補習の記録

## 平成17年度環境都市工学科留学生補習記録

留学生氏名: \_\_\_\_\_

学科主任印

科 目: 構造力学担当教官: 佐藤 恒明

月日	出欠	補習内容	備考
4/19	✓	単純はり (せん断力図(S)図)	教科書 宮本祐著
4/26	✓	"	" 構造工学」授業
5/10	✓	"	4章, 5章
5/17	✓	" (曲げモーメント(M)図)	"
5/24	✓	"	"
5/31	✓	"	"
6/14	✓	片拘り・張出しはり (せん断力図(S)図)	"
6/21	✓	"	"
6/28	✓	"	"
7/5	✓	" (曲げモーメント(M)図)	"
7/12	✓	"	"
9/6	✓	ゲルバーはり (S図, M図)	6章
9/13	✓	"	"
9/20	✓	"	"
10/4	✓	はりの曲げ応力とせん断応力	7章
10/11	✓	"	"
10/18	✓	"	"
10/25	✓	"	"
11/1	✓	はりのたわみ	"
11/8	✓	"	8章
11/15	✓	"	"
11/22	✓	(仮想仕事の原理など)	"
11/29	✓	"	"
12/13	✓	オバー座屈と適用限界	10章
12/20	✓	"	"
1/10	✓	トラスの影響線	11章
1/17	✓	"	"
2/7	✓	"	"
2/14	✓	"	"

(出典 2005年度環境都市工学科留学生補習の記録)

学習不振学生補習の記録の例

オフィスアワー実績記録

所属 基礎序系  
氏名 高橋 邦文

日時	学生氏名	内容
平成17年12月19日 17:00~19:00	1学年 42名	物理序補習 等速運動・等加速度運動
平成18年1月11日 17:00~19:00	同上	相対速度・放物運動
平成18年1月18日 17:00~19:00	同上	運動の三法則
平成18年2月1日 17:00~19:00	同上	力と運動方程式

56 ● N力とエネルギー

## 2. 力と運動

### ① 力

**力の要素**  
力は速度と同じようにベクトルである。

**力の合成・分解**  
力の合成はただ1通りしか求められないが、分解は、いろいろな方向にでき、多数考えられる。

**力のつりあい**  
力がつりあっている場合、合力が0であるので、2力がつりあうときは、同一作用線上で大きさが等しく、向きが反対の力が働く。

**力の表し方**  
力は( )と( )をもつ量で、矢印で表せる。矢の長さで( )を示す。力の働いているところを( )といい、矢の基点である。

**力の合成**  
2つの力と同じ働きをする1つの力をそれらの( )という。2つの力  $\vec{F}_1$  と  $\vec{F}_2$  を合成するとき、合力  $\vec{F}$  は、 $\vec{F} = ( ) + ( )$  で示される。

**力の分解**  
物体に働く1つの力を分解し、その力と同じ働きをする2つの力に分けたとき、それらを( )という。合成、分解ともに、( )の方法により求まる。

**問題1** 次の図において、指示にしたがって作図せよ。  
(1)  $\vec{F}_1$  と  $\vec{F}_2$  の合力  $\vec{F}$  を求めよ。  
(2)  $\vec{F}$  を  $x$  方向、 $y$  方向に分解して分力を求めよ。

**力のつりあい**  
1つの物体に2つ以上の力が同時に働いても、それらの( )が( )ならば、これらの力はつりあう。

**問題2** (1)~(3)でつりあうものを選べ。  
①   
②   
③   
答 ( )

**問題3** 2力  $\vec{F}_1$ ,  $\vec{F}_2$  が働いている。他の力を加えてつりあわせたい。作図せよ。  


(出典 2005年度物理教員のオフィスアワーの記録と配付プリント)

(分析結果とその根拠理由)

留学生にはチューターを配置し学習・生活の支援をし、国際交流委員会主催で交流会や見学会等を積極的に行っている。留学生には日本語及び日本事情の2科目が設置され、必要に応じて担当教員により補習が行われている。4学年編入生や学習不振学生にも補習が行われている。以上、特別な学習支援が必要な者に対する学習支援体制が整備され機能している。

観点7-1-1 : 学生のクラブ活動や学生会等の課外活動に対する支援体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況)

全教員がクラブ活動の顧問として指導に当たっているととも(資料7-1-1-1),学外にコーチを依頼できること(資料7-1-1-2)。学友会活動は学生委員会によって指導され種々の行事が学生と教員一体で行われている(資料7-1-1-3)。ロボコン,プロコンともに特別学修の一環としてシラバスにも記載され,教員の支援組織が確立されている(資料7-1-1-4~5)。合宿所,学友会館,部室,プール等も整備され,長期休暇中も利用可能である(資料7-1-1-6)。学校後援会の支援により高専大会の参加費用の補助を行っている(資料7-1-1-7)。

## クラブ顧問一覧

## 文化系クラブ

クラブ名	指導教員	
電気部	石川雅之	
写真部	小田功	
自動車部	大木正喜	
吹奏楽部	齋藤康之	大澤寛
華道部	関口昌由	
茶道部	関口昌由	柏木康秀
映像研究部	小田功	
演劇部	高遠節夫	加藤達彦
	浅野洋介	武長玄次郎
囲碁部	大藤晃義	丸山真佐夫
	黄野銀介	

## 運動系クラブ

クラブ名	指導教員	
野球部	高橋秀雄	鈴木聡
	板垣貴喜	林田和宏
バスケットボール部	加藤達彦	岩崎洋一
	飯田聡子	大枝真一
バレーボール部	篠村朋樹	石井孝一
	米村恵一	
卓球部	栗本育三郎	大藤晃義
	丸山真佐夫	黄野銀介
ソフトテニス部	高橋邦夫	山下哲
	岡本保	
サッカー部	米村恵一	岡本峰基
柔道部	清野哲也	鈴木道治
陸上競技部	坂田洋満	坂元周作
山岳部	臼井邦人	
空手部	小平真次	浅野洋介
水泳部	大橋太郎	荒木英彦
	黒田孝春	
バドミントン部	東雄二	上原正啓
ホッケー部	石田博樹	
ラグビー部	大木正喜	青木優介
テニス部	高上輝雄	橋川五郎
	石出忠輝	坂元周作
ゴルフ部	大木正喜	
剣道部	内田洋彰	田村和士
女子バレーボール部	篠村朋樹	石井孝一
	米村恵一	
女子ホッケー部	石田博樹	
女子バスケットボール部	加藤達彦	岩崎洋一
	飯田聡子	大枝真一
女子テニス部	高上輝雄	坂元周作

## 同好会

クラブ名	指導教員	
化学研究同好会	相川正美	吉井文子
	吉崎静男	
文芸同好会	高遠節夫	加藤達彦
	武長玄次郎	
ロボット研究同好会	黒田孝春	鴫田正俊
	浅野洋介	坂元周作
RPG研究同好会	高遠節夫	吉井文子
土木技術研究同好会	青木優介	
環境研究同好会	上村繁樹	高橋克夫
	高石斌夫	
体操競技同好会	五十嵐讓介	
英語研究同好会	中村俊昭	室井美稚子
	荒木英彦	小澤健志
	岩崎洋一	
地盤研究同好会	鬼塚信弘	
見呂工房同好会	五十嵐讓介	
美術同好会	天摩勝洋	関口昌由
ドイツ語研究同好会	柴田育子	荒木英彦
プログラミング研究同好会	丸山真佐夫	和田州平
	大枝真一	米村恵一
模型同好会	大木正喜	
合唱同好会	金子真隆	佐藤恒明

STG指導教員

大木正喜(環境都市工学科) ・ 鈴木聡(電子制御工学科)

(出典 平成18年度学生便覧188頁)

資料7 - 1 - - 2

## クラブコーチ依頼者名一覧

## 平成17年度クラブコーチ依頼者名一覧

コ ー チ 氏 名	ク ラ ブ 名	住 所	電 話 番 号
	陸上競技部		
	ホッケー部		
	女子ホッケー部		
	ラグビー部		
	バレー部		
	女子バスケットボール部		
	空手部		
※嶋野慶次	テニス部		
※嶋野慶次	女子テニス同好会		
※清水牧夫	テニス部		
※清水牧夫	女子テニス同好会		
※金井太一	地盤研究同好会		
	華道部		
	茶道部		
	囲碁同好会		

※ は本校職員で謝金はなし。

(出典 学生課学生係資料)

資料7 - 1 - - 3

## 平成17年度 学園祭実行委員役割分担表

10月27日(木) 備品貸出 15:15 本部(学生課前集合)

担当場所	担当教員	役割
本部(学生課前)	高遠・青木	学生認印・部屋チェック報告受け
第2講義室	石井・加藤	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
第3講義室	山下	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
第4講義室	高石	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
第5講義室	吉崎	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
コミュニティーA	金子	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
コミュニティーB	室井	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
コミュニティーC	C石川	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
コミュニティーD	5C委員	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
コミュニティーF	大橋	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
視聴覚室	大枝	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
SCS教室	米村	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
図書館ホール・アト	岩崎	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
静室	板垣	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
学生会館1F	板垣	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
戯室	丸山	開錠・備品貸出チェック・施錠・報告
M1教室後点検	青木	備品移動チェック・施錠
第4講義室後点検	青木	備品移動チェック・施錠
E3教室後点検	青木	備品移動チェック・施錠
全部屋施錠	青木	コミュニティーを除く

15:15 本部前集合, 部屋のカギ貸出, 備品部屋に移動

15:30 備品貸出開始, 貸出チェック終了, 施錠, 本部に報告

16:00 貸出時間終了(来ない企画があっても施錠して帰ってきていただく)

16:05 来ない企画を放送で呼び出し。手の空いている先生がチェック。

18:00 コミュニティーを除く全部屋施錠

10月28日(金) 学園祭準備日

担当場所	担当教員	役割
学生会館前駐輪場	青木・岩崎	テント・発電機貸出
校内見回り	丸山・米村	見回り
全部屋施錠	青木	コミュニティーを除く

9:00~9:30 テント・発電機貸出

16:00 ころ 校内見回り

18:00 全部屋施錠

(出典 2005年度学生委員会資料)

資料 7 - 1 - - 4

## ロボコン・シラバス

授 業 科 目	特別学修(技術イベント活動：ロボコン)		
開設学科学系	全学科	区 分 ・ 単 位 数	選択・1単位
受講年科・学期	1～5年・通年	授 業 形 態	講義、実習
キ ー ワ ー ド	ロボットコンテスト、機械要素、電気回路、マイコン、制御		
関 連 科 目			
担 当 教 員	黒田孝春，鶴田正俊，泉源		
連絡先(マイ・アワー)			
教 科 書	三田純義・朝比奈奎一・黒田孝春・他著『機械設計法』コロナ社，3,400円+税		
補 助 教 科 書 等	山田耕治著『メカトロニクス入門』実教出版，2,300円+税		
参 考 図 書			
プログラム目標			
プログラム合格点			
達 成 目 標		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合/重み)	
・ 機械、機構の概要を理解し、基本的設計ができる。		レポートで評価(25%)	
・ 機械要素、材料強度計算の原理を理解できる。		レポートで評価(25%)	
・ 電気、電子回路の基礎を理解でき、簡単なセンサ回路を作ることができる。		製作した回路で評価(25%)	
・ マイクロコンピュータの基礎を理解し、モータを制御するプログラムをつくることができる。		製作したプログラムで評価(25%)	
履 修 上 の 注 意	「ものづくり」の基本となるあらゆる知識に対し、普段より興味を抱き、自己学習に励む姿勢が大切であり、様々な困難を克服していく根気や粘り強さも非常に重要である。		
授 業 計 画			
項 目	学 習 内 容 等		時間数
4月～7月初旬			
・ 機械と設計の基礎	・ 機械、機構の概要と設計の基本について学ぶ。		2
・ 機械加工法	・ ボール盤、旋盤の原理と使用方法について学ぶ。		2
・ 機械加工法	・ フライス盤の原理と使用方法について学ぶ。		2
・ 各種材料の性質	・ 材料の機械的性質について学ぶ。		2
・ 材料強度計算	・ 材料および構造物の強度計算の原理を学ぶ。		2
・ 機械要素	・ 歯車、軸受などの機械要素の原理と使用方法について学ぶ。		2
7月中旬～9月			
・ 製作体験学習	・ 指導教官の下で設計と製作体験学習を行う。		150
11月～2月			
・ 電気回路の基礎	・ オームの法則など電気回路の基礎について学ぶ。		2
・ 半導体素子とその回路設計	・ トランジスタ、ダイオードの原理および使用方法について学ぶ。		2
・ センサ	・ 各種センサの原理とその使用方法について学ぶ。		2
・ アクチュエータと制御	・ モータの原理とその使用方法、制御回路について学ぶ。		2
・ インタフェース	・ A/D、D/A 変換器、PIO、SIO の使用について学ぶ。		2
・ マイクロコンピュータによる制御	・ マイコンを使用した制御方法を学ぶ。		2
合計授業時間数(前期および後期の定期試験は除く)			174
評価方法 および 評価基準	学習態度、製作過程での問題解決能力や参加状況を考慮して総合的に評価する。なお、大会参加が実現した場合には、その成果等も考慮する。		

(出典 2005年度シラバス一般科目(各学科共通))

## プロコン・シラバス

授業科目			
<b>特別学修 (技術イベント活動: プロコン)</b>			
開設学科系	情報工学科	区分・単位数	選択・1 単位
受講年科・学期	全学年全学科・通年	授業形態	実習
キーワード	プログラミング、独創的アイデア、プレゼンテーション(発表力)		
関連科目	プログラミングの講義・演習全般、ドキュメント書法などの発表方法の講義		
担当教員	齋藤 康之、米村恵一、大枝真一		
連絡先(カバ・ア)	(メール等による調整の上で質問に応ずる)		
教科書			
補助教科書等			
参考図書			
プログラム目標			
プログラム合格点			
達成目標		各達成目標の評価方法と基準(評価の割合/重み)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>独創的発想力、実装力、表現力を高める。具体的には、アイデアをまとめて予選(書類審査)を通過した上で、実際にシステムを完成させ、審査員や観客に内容や性能を十分にアピールすることができる。</li> </ul>			
履修上の注意	プログラミングの基礎知識が必須であり、アイデアを練る力や実装計画を立てて実行する力も重要である。また、課題および自由部門では、審査員や観客の前で内容発表を行うので、発表技術も学んでおくことが望ましい。		
授 業 計 画			
項 目	学 習 内 容 等		時 間 数
<p>「プロコン」の正式名称は「全国高等専門学校プログラミングコンテスト」である。このコンテストは、高専生の情報処理技術における優れたアイデアとその実現力を競うものであり、課題、自由、競技の3部門に分かれている。そして、各部門とも予選と本選から構成されており、予選ではアイデアと実現性が重視され、本選では作品を実際に作成して内容説明や実演したり(課題および自由部門)、他高専を相手に競い合う(競技部門)。本選出場までをこの特別学修とする。</p>			
・ ガイダンス	・ 趣旨、昨年度の様子、課題や競技内容を説明する。		1
・ 学内予選	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマに沿ってアイデアをまとめる。</li> <li>・ 全部門とも、学内予選会で内容を発表する。</li> </ul>		2
【課題部門および自由部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイデアに基づいてプログラムを作成する。その間、新しいアイデア、効率のよいアルゴリズムなども検討する。課題および自由部門の場合は、システムを使用するユーザの立場を十分に考慮し、システムとしての完成度を高める。また、競技部門の場合は、競技条件に対して柔軟に対応できるシステムに仕上げ、難問も克服して勝ち進む頑健性が要求される。</li> </ul>		27
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プログラム作成</li> <li>・ システム概要発表資料の作成</li> <li>・ 操作マニュアル作成</li> <li>・ 本選での作品内容発表・実演</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題および自由部門の場合、並行して発表資料も作成する。この2部門は、本選当日にシステムの概要を提示資料により発表する。この発表も審査対象であるので、システム概要を容易に理解でき、かつ、その有用性をアピールできるような資料を作る。また、操作マニュアルも作成する。この操作マニュアルもまた審査対象であるので、判りやすく、かつ、マニュアル通りにシステムを起動できることが要求される。記述内容を十分に吟味するとともに、図や写真、表などを効果的に用いて表現を工夫する。</li> <li>・ 本選での作品発表と実演、他の高専と競技を行う。</li> </ul>		
【競技部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プログラム作成</li> <li>・ 本選での競技</li> </ul>		
合計授業時間数(前期および後期の定期試験は除く)			30
評価方法 および 評価基準	システム作成への貢献度(100%)で評価する。作成に30時間以上参加し、かつ、予選を通過して本選出場を果たすことが、単位認定に値すると評価するための最低条件となる。ただし、本選での成績については問わない。		

(出典 2005年度シラバス一般科目(各学科共通))

## 合宿研修施設の利用案内

### 5 - 2 合宿研修施設

合宿研修施設は、本校の学生が規律ある共同生活をとおして人間形成の向上を図ることを目的として設置されました。

利用は、指導教員の監督・指導のもとクラブ（同好会含む）・クラス・学生有志で利用でき、原則として利用期間は、4泊5日以内、人数は40名以内です。

**利用日（期間）**については、下記期間は原則として利用できません。

試験期間中及び試験開始1週間前

年末・年始（12月28日～1月3日）

入学試験当日及び前日

なお、長期休業期間中（夏季・冬季）は、合宿研修施設の利用調整を行いますので、掲示に留意してください。

**利用手続き**については、次の手順に従ってください。

学生課学生係窓口で、合宿研修施設の利用状況を確認してください。

**利用5日前**までに、**合宿願・参加者名簿・日課表**を指導教員等自署の上、学生課学生係に提出してください。

指導教員の宿泊が伴わない場合は許可されません。

寝具はレンタルです。

寝具の申込みは、所定の用紙に記入して、合宿願と一緒に提出してください。料金は次のとおりです。

### 使用料金

	1日	2日	3日	4日	備 考
敷 布 団 1 枚	600円 (1組当たり の料金)	800円 (1組当たり の料金)	900円 (1組当たり の料金)	1,000円 (1組当たり の料金)	料金は消費税込み、手数料 無し。毛布1枚追加の場合 1日目は100円。以後1日 延長される毎に50円増。
掛 布 団 1 枚					
シ ー ツ 1 枚					
枕 1 ケ					

合宿研修施設の鍵は、合宿当日、学生課学生係において指導教員に合宿日誌とともに渡します。なお、**食器等の貸与**を受けたいクラブ等は3日前までに申し出てください。

合宿期間中、クラブ等の指導教員は、必ず宿泊し監督・指導を行ってください。

合宿終了後、整理清掃の上、学生課学生係に報告し**点検**を受けた後、鍵・食器等の返却を行ってください。

**合宿研修施設を利用する場合**、次に掲げる事項を遵守してください。

火気の取扱い、保健衛生には、充分注意してください。

施設・設備の取扱いは、充分注意し、利用期間中は整理・整頓・清掃を行い施設の保全につとめてください。

他より暖房器具及び電気器具を持ちこまないでください。

盗難には十分注意し、合宿研修施設を離れる場合は、必ず施錠してください。

合宿終了後、指導教員は、**合宿日誌及び部活動指導業務実施報告書**を学生課学生係に提出し点検を受けてください。

（出典 平成18年度学生便覧76～77頁）

資料 7 - 1 - - 7

## 後援会クラブ活動助成費関係等の支出基準

平成 17 年 4 月 28 日

教 員 各 位

後 援 会

## 平成 17 年度後援会クラブ活動助成費関係等の支出基準について (通知)

このことについて、学生保護者より後援会会費 (入会金 15,000 円 年会費 18,000 円) を原資として従来より下記のとおり各方面にわたり補助等をしてありますが、平成 17 年度の取り扱いについてお知らせいたします。

記

	項 目	備	考
ク ラ ブ 活 動 助 成 費	ｸﾗﾌﾞ 指導費	1 部・1 同好会の指導に対して部同好会当たり 5,000 円	後援会職員 (学生課) に請求
	ｸﾗﾌﾞ 物品援助費	体育系 20,000 円 文化系 15,000 円 同好会 10,000 円	希望物品一覧を学生課学生係へ提出 (1 月 17 日まで提出分)
	課外活動指導費	休日に 4 時間以上の部活動の指導を行った場合 1 回につき 1,200 円	部活動指導業務実施報告書を学生課 学生係へ速やかに提出
	合宿指導費	1 泊の勤務につき 2,000 円	
	ｸﾗﾌﾞ 引率旅費	交通費 実費 宿泊料 定額 日 当 定額	旅行内申書は学生課学生係へ提出 活動計画に合致しているものに限る ただし、予算の範囲で調整あり
	地区大会遠征費等顧問	交通費 実費 宿泊料 定額 日 当 定額	旅行内申書は学生課学生係へ提出
	学生	負担割合	交通費・宿泊料及び弁当代の総額を後援会、学生会、学生で各 1/3 乗車券は参加人数により団券・学割適用
	全国体育大会遠征費	同 上	旅行内申書は学生課学生係へ提出
	英語弁論大会旅費	同 上	同 上
	文化発表会旅費	同 上	同 上
その他の旅費等	交通費 実費 宿泊料 定額 その他 実費 日 当 定額 (山岳部夏・冬山行、ホッケー部東日本大会、棋 道部全国将棋大会、自動車部エコラン大会等)	同 上	
厚 生 補 導 関 係 等	学生指導費	主事(3 名)主事補(9 名)専攻科長 金額 10,000 円 副専攻科長 金額 10,000 円	後援会職員 (学生課) へ各自で請求
	担任経費	学級担任経費 1 ｸﾗﾌﾞ 10,000 円	学年主任が代表して学年分を一括 して学生課の後援会職員へ請求
		学年共通経費 各学年 20,000 円	経費は学年主任が後援会職員 (学生 課) に請求
	新入生歓迎会	各学科 10,000 円	学生課学生係へ領収書を提出
	卒業生追出会	各学科 10,000 円	学生課学生係へ領収書を提出
	弔慰金	学生の父母 (生計を同一にしている者) が亡 くなった場合 金額 10,000 円	担任教員は、学生課学生係へ連絡
	表彰関係	表彰規程に定める表彰該当者に表彰状及び記 念品	各種大会等で上位入賞の場合は学 生課学生係へ連絡 (推薦書提出)
就 職 対 策	卒業生との就職懇談会	各学科 20,000 円	領収書を学生課学生係へ提出
	就職依頼旅費	就職開拓旅費 各学科 30,000 円	旅行内申書を学生課学生係へ提出
	卒業研究資料代	卒業研究資料代 指導教員各 10,000 円	領収書を後援会職員 (学生課) へ
	専攻科等研究補助	論文発表 1 回につき 10,000 円上限 (交通費実費) 1 人年 2 回限度	後援会職員へ請求 (専攻科主任から)

(出典 学生課資料)

(分析結果とその根拠理由)

部活動やロボコン，プロコン，学友会活動に対する指導などを学校全体で支援し，必要な財政的支援を行う体制も整備されていることから十分機能しているといえる。

観点7 - 2 - : 学生の生活や経済面に係る指導・相談・助言を行う体制が整備され，機能しているか。

(観点に係る状況)

学生委員会を中心に学生生活を組織的に指導，相談，助言する体制を整備している。学生相談室を設け，カウンセラー，担任等の連携による学生の支援を行っている(資料7 - 2 - - 1 ~ 2)。セクシャルハラスメント相談委員やカウンセラーを配置して個人的な悩みや相談事に対しての助言を行っている(資料7 - 2 - - 3 ~ 4)。外部専門家による教員対象の研修会を定期的に行っている(資料7 - 2 - - 5)。入学料・授業料の減免，奨学金の貸与等，経済面の支援をしている(資料7 - 2 - - 6)。

## 学生相談室の利用について

## 4 - 2 学生相談室の利用

人は皆それぞれに、さまざまな問題を抱えて生きています。まして、多感な青春時代はなおさらです。勉学や友人関係、クラブ活動、兄弟や親子関係、健康や性の悩み等々、私達の悩みや不安、心配の種はいつも尽きることはありません。人は青春時代に、さまざまな難関に遭遇し、もがき苦しみ、それを乗り越えて、内面的な成長を遂げてゆきます。

しかし、どんなに努力してみても、自分一人の力では容易に解決しないばかりか、ますます混乱が深まり、ついには立ち上がれないほどに疲れ切ってしまうこともあります。

学生相談室は、青春時代のさまざまな疑問や問題を学生と共に考え、学生が心身共に健康で充実した学生生活を送れるよう、手助けをさせてもらうところです。自分一人ではどうすることも出来ないと思うような時、ほんの少し、勇気を出して学生相談室に足を向けてみませんか。プライバシーは一切、堅く守ります。どうか、学生相談室の存在を心のどこかに留めておいてください。

担当者	相談場所	相談日
愛甲修子 (カウンセラー)	学生相談室 (一般研究棟1階)	毎週火曜日 (13:00~17:00)
中村俊昭 (学生相談室長)	中村教員室	随 時
吉井文子	吉井教員室	
大枝真一	大枝教員室	
青木優介	青木教員室	
小田功	小田教員室	
大澤寛	大澤教員室	
鈴木聡	鈴木教員室	
柳澤静代	保健室	

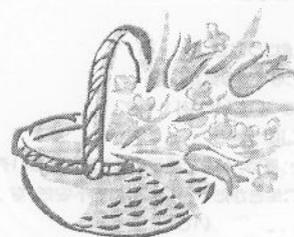
(出典 平成18年度学生便覧72頁)

学生相談室の案内

# 学生相談室のご案内

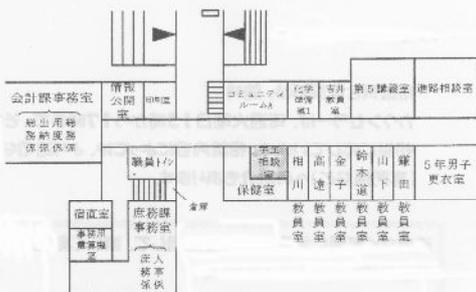
相談室長・カウンセラー・相談員

相談室長	中村 俊昭
カウンセラー	愛甲 修子
基礎学系	吉井 文子
機械工学科	小田 功
電気電子工学科	大澤 寛
電子制御工学科	鈴木 聡
情報工学科	大枝 真一
環境都市工学科	青木 優介
看護師	柳澤 静代



学生相談室は

一般研究棟 1 階保健室横にあります。



木更津工業高等専門学校  
学生相談室

(出典 学生相談室学生配賦資料)

## セクシュアル・ハラスメント相談員の設置

## 4 - 3 セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談について

**セクシュアル・ハラスメントとは、相手を不快にさせる性的言動をいいます。**

本校内における学生，職員，保護者又は関係する業者に対する性的な言動が対象となり，セクシュアル・ハラスメントに該当するかどうかは，基本的には言動の受け手がそれを不快に感じるかどうかによって決まります。

**セクシュアル・ハラスメントになりうる言動は？**

- (1) 性的な発言や性的行動（例えば，聞くに耐えない卑猥な冗談を交わす。雑誌等の卑猥な写真・記事等を部屋，研究室等に貼る。食事やデートにしつこく誘う。等）
- (2) 性別による差別（例えば，「男のくせに根性がない」，「女には任せられない」などと発言する。性別により仕事や教育の内容，評価，指導等に差をつける。等）

**セクシュアル・ハラスメントの被害を深刻にしないために**

- (1) 嫌なことは相手に対しはっきりと拒否の意思を伝えることが望めます。
- (2) 信頼できる人に相談してみましょう。

本校からセクシュアル・ハラスメントに関する問題の被害者や加害者を出さないためには，周囲に対する気配りをし，友人又は同僚として注意するなど必要な行動をとるようにしましょう。

**本校では、セクシュアル・ハラスメントに関する学生の苦情の申し出や相談のために次の相談員を配置しています。**相談等は本人だけではなく，友人でも可能です。所属学科に関わらず，どの相談員でも受け付けています。

職 名	氏 名	連 絡 先	備 考
学 生 主 事	高 遠 節 夫		
学生相談室長	中 村 俊 昭		
カウンセラー	愛 甲 修 子		毎週火曜日 13:00～17:00
人 文 学 系	室 井 美 稚 子		
看 護 師	柳 澤 静 代		

(出典 平成18年度学生便覧73頁)

資料7 - 2 - - 4

## 学生相談室・カウンセラー相談件数

平成17年度後期相談件数  
(校内相談員分)

相談内容	学年	学科	合計
勉学/不登校	1/2/3/4	全科	41
進路	1	D	1
	2	EDJC	18
	3	DCJ	14
	4	EDJC	15
部活動	1/2	ME	2
交友	1	C	1
寮生活	1	J	1
異性交遊	1/3	MJ	6
家庭問題	5	MJ	4
健康問題	1/4/5	ME専	16
その他	1/4/5	MDJC	6
計			155

## スクールカウンセラー分

## 学年別相談件数

	1年	2年	3年	4年	5年	専攻科	計
学業	13	0	6	7	0	3	29
進路	0	0	0	1	2	1	4
交友・集団	16	2	0	3	0	0	21
家族	5	0	0	0	2	2	9
性格・行動	23	0	2	0	0	2	27
精神衛生	75	29	7	2	12	9	134
部活動	0	0	0	0	0	0	0
寮生活	8	4	0	1	0	0	13
その他	2	0	0	0	0	0	2
学年別計	142	35	15	14	16	17	239

(出典 2005年度学生相談室だより(平成17年度No.2))

## メンタルヘルス研究会の案内

### 教職員各位

平成18年2月21日  
学生相談室委員会

### 「第7回メンタルヘルス研修会」についてのご案内

今年度のメンタルヘルス研修の講演会を次の通り開催しますので、ご多忙中恐縮ではありますが、ご参加をお願い致します。

日時 平成18年3月14日(火) 10:00～11:30  
場所 階段教室  
内容 「アスペルガー、学習障害の事例研究」  
講師 C A S 発達障害支援担当 中島友加 先生  
〒

千葉県発達障害者支援センター  
Tel

講演に先立ち、予め質問事項を提出していただき、講演の内容に含めて貰うようにしたいと思います。質問がありましたら、「質問事項」を簡単に書いて2/28までに庶務課前の中村ポストに入れて下さい。(記名無記名は自由です)

寄せられた質問のまとめ(講師に送付)

#### 質問事項

- (1) アスペルガー他学習障害の子供を見分ける基準はどういうものですか。  
今、落ち着きのない子、自分勝手な子は沢山いるのでどこで線を引くのですか。
- (2) クラスに、そのような子供がいた場合、担任や授業担当者はどういう対応をすればよいのでしょうか。他の学生がクラスにいたので、特別な対応は難しいと思われます。
- (3) 精神分析やカウンセリングの素人である教師はどういう対応をすればいいかという観点からお話下さい。
- (4) 教師個人ではなく、教師団がいかにチームワークを作ったらよいかヒントを下さい。  
(相談員分)
- (5) 「発達障害」に分類される子供で肉体的でなくメンタルな場合の基準を教えてください。
- (6) 「アスペルガー」症候が顕著に出てきたのには社会的環境的な要因があるのでしょうか。
- (7) 学生の生活時間の使い方が前と変わってきたと思いますが、特に夜型がおおくなってきたことと社会的環境の変化が原因でしょうか。
- (8) 学生相談員や保健担当者としてアスペルガーの生徒に携わる場合の注意すべき点を教えてください。
- (9) 「アスペルガー」の中学校と高校とでは症状の出方に変わりがあるのでしょうか。
- (10) 最近の症例、「リストカット」や「逆ギレ」などと「アスペルガー」や「発達障害」との関係などについても触れて下さい。

(出典 2005年度「第7回メンタルヘルス研究会」の案内と講師への事前質問内容)

## 学生に対する経済面の援助

### 3-1 授業料の免除等

経済的理由により、授業料の納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合は、願い出（**授業料免除願**）に基づき選考のうえ、その期に納付すべき授業料の全額あるいは、半額が免除されます。

授業料免除を希望する学生は、2月及び9月に申請方法を掲示しますので期日までに「**授業料免除願**」を学生課学生係に提出してください。

また、授業料納付期限までに授業料の納付が困難な場合は、「**授業料徴収猶予願**」、特別な事情がある場合には、「**授業料月割分納願**」がありますので、学生課学生係へ申し出てください。

### 3-2 奨学金制度

#### 日本学生支援機構（旧日本育英会）

学業・人物ともに優秀で、かつ健康であり、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者に対し、学資を貸与します。

奨学生の種類と貸与の月額

#### 第一種奨学金（無利子）

（平成18年4月現在）

種 類	貸 与 月 額			
	1～3年	4～5年	専攻科1年	専攻科2年
自 宅 通 学	21,000 円	44,000 円	45,000 円	44,000 円
自 宅 外 通 学	22,500 円	50,000 円	51,000 円	50,000 円

その他に**第二種奨学金（きぼう21プラン）（有利子）**があります。

出願の手続

奨学生の募集は、4月に行います。出願時期・要領等については、掲示等により通知します。また、家計が急変し、修学が困難になった場合は、定期外で**緊急採用**の制度もありますので、学生課学生係に相談してください。

採否の決定

提出された願書により審査選考し、日本学生支援機構に推薦します。採用の可否は日本学生支援機構が決定し、校長を経て本人に通知します。

奨学金の交付

奨学金は、毎月1回指定した本人名義の銀行口座へ振込まれるので、奨学生は、

毎月11日以降に一般の普通預金払出手続と同じように手続きをすれば受け取ることができます。休学・退学・転居等により異動が生じた場合は、速やかに学生課学生係に連絡してください。

奨学金継続願の提出

奨学金継続願の用紙を配付（1月）しますので、必要事項を記入し学生課学生係へ提出してください。（掲示により通知）

継続願を提出しない奨学生に対しては、振込を保留するので掲示に留意してください。

奨学金の返還

奨学金は、貸与です。卒業後6ヶ月後から20年以内に月賦等の方法により必ず返還しなければなりません。この返還された奨学金が、後輩の奨学金として貸与されるので規則を守り、確実に返還する義務があります。

#### その他の奨学金制度

地方公共団体・民間団体の育英事業等の奨学金制度がありますが、いずれもその団体所在地の出身学生に限る場合が多く、出願採用時期もまちまちで本人が直接手続をすることが多い。なお、学校推薦を必要とする場合や、採用になった時は、学生課学生係へ申し出てください。

### 3-3 日本スポーツ振興センター

日本スポーツ振興センターとは、学校安全の普及充実に図るとともに、学校の管理下における学生の負傷、疾病、廃疾又は死亡に関して必要な給付を行い、学校教育の円滑な実施に資することを目的とする制度です。

掛金は、1人年額1,520円で、後援会で負担しています。（全員加入）

#### 対象となる災害の範囲

災害の種類	災 害 の 範 囲	給 付 金
負 傷	学校の管理下の事故によるもので、療養に要した費用の額が5,000円以上のもの	医 療 費
疾 病	学校の管理下の行為によるもののうち次のもの (1)学校給食等による中毒 (2)ガス等による中毒 (3)日射病 (4)溺水 (5)異物の嚥下 (6)ウルシ等による皮膚炎 (7)外部衝撃による疾病 (8)負傷による疾病	
障 害	学校管理下の負傷及び上欄の疾病がなあった後に残った障害で、その程度により1級から14級に区分される	障 害 見 舞 金
死 亡	学校管理下の事故による死亡及び上欄の疾病に直接起因することが明らかな死亡	死 亡 見 舞 金

災害にあった場合は、すみやかに学生課学生係（保健室）へ申し出て、必要な措置と所定の手続を行ってください。

（出典 平成18年度学生便覧67～69頁）

(分析結果とその根拠理由)

学生委員会を中心に学生相談支援の体制を整え、担任を中心に個々の学生に対する支援・指導を行っている。学生相談室、カウンセラー、セクシャルハラスメントの相談委員を配置している。経済的な支援についても充実している。よって学生の生活・経済面に係る指導・相談・助言に関する体制も機能している。

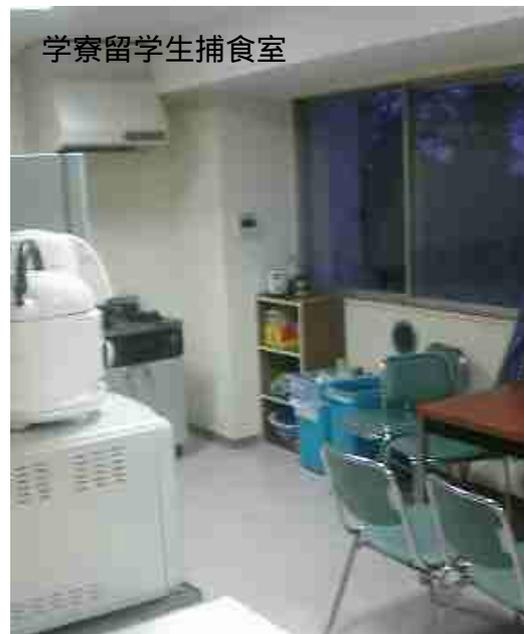
観点 7 - 2 - : 特別な支援が必要な者(例えば、留学生、障害のある学生等が考えられる。)がいる場合には、生活面での支援は適切に行われているか。

(観点に係る状況)

寮には外国人留学生用に補食室やシャワー室を設置し、食生活、生活習慣の違いを考慮している(資料 7 - 2 - - 1)。障害を持つ学生が入学した場合を想定して校内の建物はバリアフリー化しており(資料 7 - 2 - - 2)、全校で 6 箇所の障害者用トイレ、3 基のエレベータが設置されている(資料 7 - 2 - - 3 ~ 4)。学寮 1 階には車椅子での生活が可能で居室を完備している(資料 7 - 2 - - 5)。

資料 7 - 2 - - 1

### 学生寮留学生用シャワー室・補食室



校内バリアフリーの様子



総合教育棟



正門前庭通路



学友会館



地域共同テクノセンター



第2研究棟



学生食堂

資料7 - 2 - - 3

障害者用トイレ



資料7 - 2 - - 4

総合教育棟エレベータ



学寮障害者用居室



(分析結果とその根拠理由)

外国人留学生の施設が整備・活用され、障害者用に対するバリアフリー化も進み機能している。

観点 7 - 2 - : 学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。

(観点到に係る状況)

学生寮には群制度を導入し、各群に群長、副群長が任命され寮生の指導に当たっている(資料 7 - 2 - - 1)。寮友会が組織され、寮友会長、男子寮長、女子寮長、美化委員、車両委員等が制定され、寮の自治・運営・行事を行っている(資料 7 - 2 - - 2)。寮の運営・生活指導のために、寮務委員会、学生課寮務係が組織されている(資料 7 - 2 - - 3)。毎月群長会が開かれ、寮務主事、主事補、寮務委員を交え、指導や寮生の生活全般の確認や連絡事項の通達、指導等が行われている。年に 2 回学寮リーダー研修会も行われている(資料 7 - 1 - - 6)。

自習時間を 20:00 から 21:30 まで設定している。朝と夜に舎監による点呼が取られている。ポイント制が導入され、点呼時に不在の者や諸規則の違反者にはマイナスポイントが課せられ、一時退寮等の指導がなされる(資料 7 - 2 - - 4)。

新入寮生保護者懇談会が行われ、保護者を交えて寮生活の諸規則等が説明されている(資料 7 - 2 - - 5)。

談話室、サービスエリア(補食コーナー、洗濯コーナー)、浴室、パソコン室、学習室等の生活設備が整っている(資料 7 - 2 - - 6)。

資料 7 - 2 - - 1

## 学生寮群制度について

### 1) 学寮の目的

学寮は本校の課外教育施設であり、その目的は次の 3 つからなります。

- (1) 安全で健康な生活環境を提供すること。
- (2) 修学を支援すること。
- (3) 規律ある共同生活と地域社会への貢献を通じて人間形成をはかること。

### 2) 「群制度」の内容

学寮が課外教育施設としての目的を十分に果たすため、独自の群制度を導入しています。群とは、居室・談話室及びサービスエリアをもって構成される単位であり、各群は 1 年生から 5 年生までの寮生 30 ~ 40 名程度で構成されます。男子寮は 1 階から 4 階までの各フロアを東西に分けて 8 群、女子寮は全体でひとつの群となります。各群は、群長をリーダーとして自分達で定めた「生活規範」に従い、より自由な雰囲気の中で各自が責任を持って、その最善と考える共同生活の実現に努力します。

(出典 平成 18 年度寮生便覧 2 頁)

### 寮友会組織図

#### 平成17年度 寮役員一覧表

##### 寮友会長

寮友会長	D5:
------	-----

##### 寮長

男子寮長	C5:	男子副寮長	E4:
女子寮長	J5:	女子副寮長	C4:

##### 群長・副群長

	1 群	2 群	3 群	4 群	5 群	6 群	7 群	8 群	女子
群 長	M5:	M5:	D5:	D5:	E5:	E5:	E5:	M5:	J5:
副 群 長	C4:	C4:	M4:	M4:	C4:	C4:	C4:	D4:	E4:

##### 寮委員

寮委員	美化委員	防 災	編 集	レクリエーション	食事検討	車 両	ネットワーク管理	監 査
委 員 長	C4:	M5:	M5:	C4:	M5:	E5:	M5:	E4:
副委員長	C4:	C4:	D4:	C4:	C4:	M5:		

##### 寮務主事・主事補

寮務主事: 高橋秀雄	寮務主事補: 荒木英彦
	寮務主事補: 関口昌由
	寮務主事補: 板垣貴喜

##### 指導教官

	1 群	2 群	3 群	4 群	5 群	6 群	7 群	8 群	女子
指導教官	清野哲也	山下 哲	坂元周作	関口昌由	大枝真一	上村繁樹	荒木英彦	小田 功	飯田聡子

( 出典 学生課寮務係資料 )

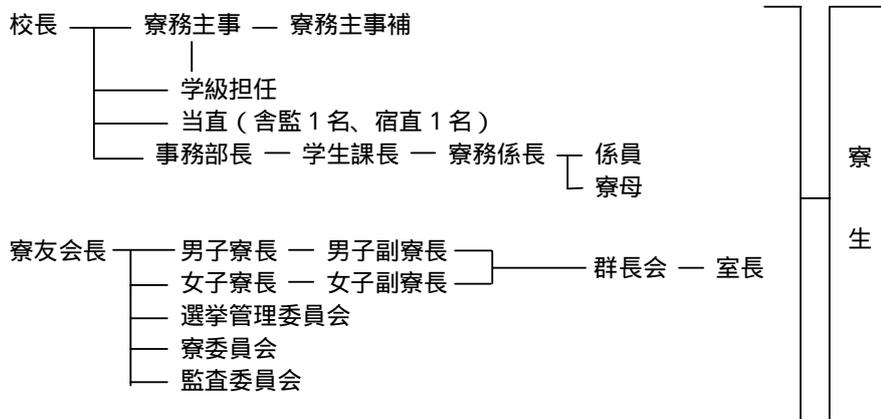
### 学生寮運営組織図

#### 3) 組 織

学寮は下図の組織によって運営されています。寮生の指導については全教官が、また施設設備の維持管理、寮費及び給食費等については学生課寮務係が担当します。寮友会は、学寮規程第 15 条に基づき、学寮における日常生活上の具体的な問題を運営組織内で率先して処理し、これを自主的に規律します。

[ 運 営 組 織 図 ]

寮務委員会 ( 寮務主事 1 名, 寮務主事補 3 名, 校長の任命した教員 )



( 出典 平成 18 年度寮生便覧 2 頁 )

## 学生寮ポイント制度

### 5) ポイント制について

#### 1. ポイント制

**ポイント制は各違反・指導に対して「一回につき何点」とポイントをつけ、その合計点で指導内容を決める方法です。**

24 時間学校で生活する寮生を、このポイント制ですべて指導できるわけではありませんので、基本的なことのみを例示します。したがってこのポイント制に明記されていない事柄についての指導は、その都度寮務主事、寮務主事補、寮長、群長等が話し合い決定することになります。

また、寮生は本校の学生でもありますから、ポイント制による指導が困難とされる問題、あるいは学校としての指導のほうがかまわしいと思われる事項については、寮務委員会の議を経て、賞罰審査会議に諮ることになります。

なお、ポイント制もしくは賞罰審査会議等で何らかの指導もしくは処分を受けた際にはポイントは 0 となります。

#### 1. 1 ポイント制のルール

ポイント加算時期は次のとおりです。

- 1) 寮規則違反・指導などが発生したとき。
- 2) 無断外泊数、欠課時数、全寮集会欠席回数を集計したとき（年 2 回）  
（学年末については次年度の入寮許可の際に考慮する。）  
（公欠や病欠で、所定の記入手続きを行った数を除く。）

違反項目とポイントの関係を表 1 に示します。

表 1. 違反項目とポイント

違反項目	ポイント
寮周辺不法駐車	0.5
指導無視	0.5
喫煙・煙草所持・飲酒・麻雀	1
通生及び部外者無断立入幫助（門限前の立入）	0.5
通生及び部外者宿泊幫助（門限後の立入）	7
通生及び部外者無断立入、宿泊幫助（異性）	7
閉寮中の無断入寮	7
欠課時数	欠課時数の%を 10 で除した数
無断外泊	回数を 8 で除した数
指導後問もない（1 年）違反	違反ポイント × 2
処分無視	7
酒、煙草の使役（時間に関係なく）	7
上記以外の使役（点呼後）	4
上記以外の使役（点呼前）	2
使役を受けた寮生	0.5
点呼後の外出	2
全寮集会の無断欠席	一回につき 0.5

注 同時に複数件あった場合は各ポイントを合算します。

#### 1. 2 総ポイントと指導内容

ポイントは入寮時から累積されたポイントを総ポイント数とします。

指導は、更新された総ポイント数が整数部に達した時に行われます。総ポイント数と指導内容の対応を表 2 に示します。期間は指導日から起算して実施されます。

表 2. 総ポイント数と指導内容

総ポイント	指導内容	総ポイント	指導内容
1	1 週間退寮	5	6 ヶ月退寮
2	2 週間退寮	6	1 年間退寮
3	1 ヶ月退寮	7 以上	無期限退寮
4	2 ヶ月退寮		

#### 1. 3 減点規則（救済規則）

指導に際して行われる面談で情状酌量の余地があると判断した場合には、表 1 の点数から減点することができます。減点範囲は、主事 5 / 10、主事補・寮長・当該群長各 1 / 10 以下とします。

#### 1. 4 寮務委員会と寮友会の協調

学校の基本方針と寮の健全な運営に反しない限り、表 1、表 2 については寮務委員会と寮友会とがリーダー研修会において協議し、決定します。

#### 1. 5 指導の公示

指導日より一週間の公示を行う。但し、プライバシーの配慮が必要な場合は適宜配慮する。

（出典 平成 18 年度寮生便覧 19～20 頁）

## 寮生保護者懇談会の案内

### 新入寮生保護者懇談会の実施について

#### 1、 新入寮生保護者昼食会

日 時：平成17年4月7日（木）13時～13時40分

場 所：学寮食堂

出席者：新入寮生保護者、寮務主事、寮務主事補、学生課長、寮務係

#### 2、 新入寮生保護者懇談会

日 時：平成17年4月7日（木）13時45分～15時（予定）

場 所：図書館1階 図書館ホール

出席者：新入寮生保護者（78名）

寮務主事、寮務主事補、学生課長、学生課長補佐、寮務係

新入寮生保護者 懇談会次第（進行：荒木寮務主事補）

- (1) 開会のことば（荒木寮務主事補）
- (2) 教職員紹介・寮役員紹介
- (3) 寮務主事あいさつ
- (4) 質疑応答
- (5) 閉会のことば（荒木寮務主事補）

#### 配布資料

- ・学寮行事予定表
- ・寮生数一覧表
- ・寮役員一覧表
- ・部屋割り表
- ・給食献立表

（出典 2005年度学寮保護者懇談会資料）

## 学生寮生活設備

学寮には、居室の他に次に掲げる各種の共用施設・設備が整備されています。利用する場合は、共用であることを認識し、使用規則を遵守して大切に利用ください。なお、居室及び各種の施設・設備に工作を加えたり、目的以外に使用してはいけません。

### (1) 雄峰寮 (男子寮)

#### 談話室

各群ごとに、寮生が自由に語り合ったり、テレビを見たり、また居室消灯後の勉強にも使用できます。

備品として、テレビ・ビデオ・座机が設置されています。また、群で購読する新聞を見ることができます。

#### サービスエリア

各群ごとに、補食コーナー及び洗濯コーナーとしての「サービスエリア」があります。

「補食コーナー」には、流し台とガス台(3台)が設置されています。

「洗濯コーナー」には、全自動洗濯機(5台)と乾燥機(5台)が設置されています。

これらの施設設備は、共同利用ですから、各自ルールやマナーを守って清潔・整頓を励行するとともに、ガス柱の確認や節水に心がけて使用してください。

#### 浴室

浴室は食堂棟地階にあり、一度に40人位が入浴できます。

#### パソコン室

一階にインターネットもできるパソコン室があります。

#### 学習室

二階に学習をする為の学習室があり、24時まで利用できます。

### (2) なのはな寮 (女子寮)

#### 談話室

備品として、テレビ・ビデオ・テーブル・ソファが設置されています。

空調設備もあり、ソファに座ってテレビを見たり雑談をしたりできます。

なお、点呼や女子寮生会も談話室で行います。

#### 補食室

1から3階に補食室があります。それぞれ流し台とガス台、電子レンジが設置されています。

#### 洗面所・洗濯機コーナー

地階から3階には、それぞれ3~4か所の洗面台と、全自動洗濯機(2台)、

ガス衣類乾燥機(2台)が設置されています。共同利用するものですから、清潔・整頓に留意してください。

#### 浴室

浴室は地階にあり、一度に5人くらいが入浴できます。

(出典 平成18年度寮生便覧6~7頁)

### (分析結果とその根拠理由)

学生寮は教育寮として位置づけられ、寮務委員会や寮務係による生活全般の指導・支援が行われ、勉強の場としても人間形成の場としても有効に機能している。

観点 7 - 2 - : 就職や進学などの進路指導を行う体制が整備され、機能しているか。

### (観点到に係る状況)

各学科主任、専攻主任、学級担任が学生課と協力・連携して学生の就職・進学活動を支援している。準学士課程の保護者懇談会(資料7-1--5)、専攻科の年8回もの連絡会やガイダンス(資料7-1--7)、OBや大学教員による進路支援の講演会(資料7-1--4)等、密接に学生と接触する機会を多く設けている。

準学士課程の就職資料は各学科の最寄のコミュニティルームに保管され、学生が気軽に閲覧できる(資料7-2--1)。進学資料は学生課で閲覧できる(資料7-2--2)。専攻科の進路資料はコミュニティルームHに保管されている(資料7-2--3)。ホームページ、学校要覧や学生便覧(資料7-2--4)に進路実績の情報が記載されている。

資料7 - 2 - - 1

準学士課程就職資料（写真は機械工学科の例）



資料7 - 2 - - 2

準学士課程進学資料（写真は学生課に入ってすぐの資料棚）



資料7 - 2 - - 3

専攻科就職・進学資料（コミュニティルームHに保管）



資料7 - 2 - - 4 ( 1 / 3 )

## 就職・進学の情報

## 8 - 1 本 科 の 就 職

本科の卒業生の数は、約4,800人に達し、それぞれに大企業や特色ある中小の企業などの産業界、あるいは官公庁など、社会の様々な分野で、目覚ましい活躍をしています。

本校創立以来、毎年就職は100%で、17年度の求人社数は全体で約2,000社に及んでいます。次表に、過去5年間の卒業生の主な就職先を示します。

機 械 工 学 科	電 気 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科	電 子 制 御 工 学 科	情 報 工 学 科	環 境 都 市 工 学 科
N T T 東 日 本	N T T 東 日 本	鐘 紡	N T T ド コ モ	N T T 東 日 本
セガ・ロジスティックサービス	NTTファシリティーズ	ク ラ リ オ ン	N T T 東 日 本	関 東 天 然 瓦 斯
東 京 電 力	N T T ド コ モ	日 本 放 送 協 会	NTTファシリティーズ	千 葉 ガ ス
キ ャ ノ ン	サ ン ト リ ー	半 導 体 エ ネ ル ギ ー	ソ ニ ー E M C S 木 更 津 テ ッ ク	京 葉 ガ ス
日揮プロジェクトサービス	ニ コ ン	日 産 テ ク ノ	デ ー タ 通 信 シ ス テ ム	東 京 電 力
東 京 ガ ス	東 京 電 力	N T T ド コ モ	日 本 I B M	住 金 橋 梁 セ ン タ ー
ニ コ ン	キ ャ ノ ン 販 売	N T T 東 日 本	京 葉 ガ ス	関 東 地 方 建 設 局
黒 田 精 工	京 葉 ガ ス	ソ ニ ー	千 葉 ガ ス	東 日 本 旅 客 鉄 道
東 海 旅 客 鉄 道	東 レ	日 本 計 算 機 販 売	東 京 電 力	西 日 本 旅 客 鉄 道
丸 善 石 油 化 学	成 田 エ ア ポ ー ト テ ク ノ	ニ コ ン	中 部 電 力	ク リ ス タ ル
サ ン ト リ ー	日 立 製 作 所	三 菱 ビ ル テ ク ノ サ ー ビ ス	出 光 興 産	東 海 旅 客 鉄 道
東 邦 化 学 工 業	ソ ニ ー	出 光 興 産	C R C シ ス テ ム ズ	国 土 地 理 院
新 日 鐵 化 学	東 芝	東 邦 化 学 工 業	日 本 コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム	首 都 高 速 道 路 公 団
出 光 興 産	日 産 自 動 車	日 産 化 学	松 下 通 信 工 業	帝 都 高 速 度 交 通 管 団
新 日 本 製 鐵	古 河 電 気 工 業	キ ャ ノ ン N T C	ク ラ リ オ ン	東 京 港 埠 頭 公 社
J F E ス チ ー ル	財 務 省 印 刷 局	フ ジ テ ッ ク	オ リ ン パ ス	管 団 地 下 鉄
フ ジ テ ッ ク	日 本 放 送 協 会	キ ク チ	ニ コ ン	道 路 建 設 コ ン サ ル タ ン ト
日 野 自 動 車	パ イ オ ニ ア	松 下 通 信 工 業	パ イ オ ニ ア	セ ク タ ー
三 菱 重 工 業	鳥 居 薬 品	村 田 機 械	鐘 紡	太 陽 道 路
日 産 車 体	日 本 空 港 給 油	双 葉 電 子 工 業	ヤ フ ー	横 河 工 事
ジャル航空機整備東京	丸 善 石 油	財 務 省 印 刷 局	放 送 衛 星 シ ス テ ム	国 土 交 通 省
パ イ オ ニ ア	関 電 工	日 鉄 エ レ ッ ク ス	日 本 宇 宙 開 発 エ ン ジ ニ ア リ ン グ	ヤ フ ー
松 下 通 信 工 業	ト ス テ ム	T I D	日 本 電 気 エ ン ジ ニ ア リ ン グ	第 一 テ ク ノ
T D K	松 下 通 信 工 業	東 芝	日 本 放 送 協 会	新 日 本 製 鐵
コ ス モ 石 油	ソ フ ト バ ン ク	東 日 本 旅 客 鉄 道	富 士 ソ フ ト A B C	フ ジ テ ッ ク
東 レ	ジャル航空整備東京	日 本 ビ ク タ ー	パ イ オ ニ ア	協 和 テ ク ノ ス
オ リ ン パ ス	日 本 I B M	N S デ ザ イ ン	日 立 デ ィ ス プ レ イ ズ	君 津 住 宅
花 王	日 立 化 成 工 業	ソ ニ ー E M C S 木 更 津 テ ッ ク	花 王	巴 商 会
日航エンジンテクノロジー	日 本 空 港 テ ク ノ	神 鋼 電 機	D I D	京 急 建 設
セ コ ム	道 路 通 信 エ ン ジ ニ ア	日 野 自 動 車	日 立 I N S	セ コ ム

資料7 - 2 - - 4 ( 2 / 3 )

## 8 - 2 本 科 の 進 学

本校は、創造性豊かな工業技術者を社会に送り出すことを目的に設立されましたが、近年では、高専を卒業して更に大学へ進学し勉学を続けたいという学生も多くなりました。そのため大学編入という道が開かれており、150以上の大学が高専からの編入学を受け入れています。

近年高専に専攻科が設けられ、本校にも平成13年度に設置されました。これにより、さらに進学の道が広がっています。卒業後の約半数が高専専攻科及び大学に進学しています。詳しくは学生課の「掲示板」及び「進学関係資料コーナー」で閲覧してください。

## 高専専攻科入学先

木更津工業高等専門学校	鈴鹿工業高等専門学校	久留米工業高等専門学校
豊田工業高等専門学校	松江工業高等専門学校	舞鶴工業高等専門学校
八戸工業高等専門学校	福島工業高等専門学校	奈良工業高等専門学校
鶴岡工業高等専門学校		

## 大学編入学先

北海道大学	金沢大学	佐賀大学
室蘭工業大学	福井大学	長崎大学
北見工業大学	山梨大学	熊本大学
弘前大学	信州大学	宮崎大学
岩手大学	岐阜大学	琉球大学
東北大学	静岡大学	前橋工科大学
秋田大学	豊橋技術科学大学	東京都立大学
山形大学	三重大学	都立科学技術大学
茨城大学	京都大学	愛知県立大学
筑波大学	京都工芸繊維大学	大阪府立大学
宇都宮大学	大阪大学	埼玉工業大学
群馬大学	神戸大学	千葉工業大学
埼玉大学	和歌山大学	大正大学
千葉大学	鳥取大学	東京造形大学
東京大学	島根大学	東京電機大学
東京農工大学	岡山大学	東京理科大学
東京工業大学	広島大学	日本大学
東京海洋大学	山口大学	明治大学
お茶の水女子大学	徳島大学	神奈川大学
電気通信大学	愛媛大学	長岡造形大学
横浜国立大学	香川大学	京都造形芸術大学
新潟大学	九州大学	長崎総合科学大学
長岡技術科学大学	九州芸術工科大学	
富山大学	九州工業大学	

資料7 - 2 - - 4 ( 3 / 3 )

## 8 - 3 専攻科の就職と進学

本校の専攻科は、平成13年4月に設置されました。本科5年間の一貫教育という特徴を活かしながらその上級コースとして、地域・産業界との密接な協力・連携のもとで、より高度な教育・研究指導を行い、研究開発能力や創造能力を備えた新しい型の実践的専門技術者の育成を目指しています。

現在、1期生から4期生までを合わせて、107名が専攻科を修了しています。次に修了年度ごとに、専攻科生の進路先（就職先と進学先）一覧を示します。専攻科4期生の大学院進学率は、26%です。

修	1期生 (平成15年3月)	2期生 (平成16年3月)	3期生 (平成17年3月)	4期生 (平成18年3月)
修	19	27	26	33
就職先	関電工	日立化成	エスエス製薬	日産ディーゼル技術研究所
	新日鐵化学	大崎コンピュータエンジニアリング	双葉電子	トヨタテクノサービス
	山田電機	ソニーEMCS	自営	ハタシ
	山崎建設	丸和建材社	西沢電機計器	双葉電子工業
	ソニーEMCS	東京都	エヌアイディ・アイエス	自営
	大藤システム	日本マランツ	ジェイモードインタープライズ	日立ビジネスソリューション
	シーヴィホーム	クラリオン	首都圏新都市鉄道	アルファシステムズ
	山武都市広域行政	第一テクノ	山下ゴム	アンドール
	第一テクノ	松尾設計	フクシコンサルタント	千葉市役所
	トヨタ自動車	長野県警	カントウ機材	テツゲン
	日本環境開発	関電工		千葉ガス
	自営	JR東日本		日本インシュレーション
		クリタス		日野自動車
	横河工事		セコム・テクノサービス 他	
小	12	14	10	24
進学先	千葉大学(2名)	千葉大学(2名)	豊橋技術科学大学(2名)	千葉大学大学院
	長岡技術科学大学	山梨大学	千葉大学(2名)	北陸先端科学技術大学院大学(3名)
	日本大学	北陸先端科学技術大学院大学	東京農工大学	東京農工大学大学院
		早稲田大学	神戸大学	豊橋技術科学大学大学院(3名)
		長岡技術科学大学(2名)	山梨大学(2名)	筑波大学大学院
		東京工業大学	北陸先端科学技術大学院大学(2名)	
		電気通信大学	静岡大学	
		横浜国立大学	信州大学	
	東北大学	長岡技術科学大学		
	都立科学技術大学	京都工芸繊維大学		
小	4	12	14	9
その の	留学	留学・他	大学進学・他	
	専門学校			
小	3	3	2	0

(出典 平成18年度学生便覧 165~167頁)

## (分析結果とその根拠理由)

各学科長・専攻科主任，学級担任が学生課と協力・連携して進路指導を行っている。保護者懇談会，進路懇談会，進路支援の講演会等も多く行われている。就職・進学のための資料も適切に保管され，学生が自由に閲覧できるように配慮されている。就職困難な現状にも係らず就職率は100%を維持していることから十分に機能しているといえる。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

## (優れた点)

図書館，ネットワーク情報センター，コミュニティルーム等自主的学習環境が整備され，福利厚生施設も充実し，障害者用の設備も完備している。

資格・検定試験への支援体制，留学支援体制，部活動，外国人留学生や編入生への支援体制等が完備し，学生相談室，カウンセラーも配備され，セクシャルハラスメント等にも対応可能な体制が整っている。就職・進学の支援体制も万全である。

学寮においては，教育寮としての体制が整えられ，学習支援，生活指導等の細部にわたる配慮がなされている。

## (改善を要する点)

特になし。

## (3) 基準7の自己評価の概要

準学士課程で新入生合宿研修 JABEE プログラムの説明，就職進学に関するガイダンスやOB懇談会，専攻科で進路に向けたガイダンス等が行われ，区切りとなる学年ごとに適切なガイダンスが行われている。オフィスアワーの実施により，学生の自主的学習を進める上でのきめ細かな指導が行われている。キャンパスの生活環境や福利厚生施設，図書館やネットワーク情報センターも整備され多くの学生が利用している。

授業評価，学生アンケートの実施，「学生の声」箱の設置により，学生の生の声を汲み取れる工夫がなされている。学寮リーダー研修会や学友会との懇談会等，学生から直接ニーズを把握するシステムも確立されている。

資格・検定試験を単位化する制度が整備され，多くの学生が資格を取得する原動力になっている。更に外国留学についての規程も整備されている。

留学生にはチューターを配置し，また国際交流委員会主催の交流会や見学会等を積極的に行い，留学生が日本の生活に速やかに順応できるよう配慮している。また日本語及び日本事情の2科目を配置するとともに必要に応じて補習を行い，日本人学生と同様に学習できる環境が整備されている。

部活動や学友会活動に対しては学校全体で支援している。特にロボコン，プロコンは単位認定制度に組み込まれ，教員支援体制が確立している。

学生相談室，カウンセラー，セクシャルハラスメントの相談委員を配置し，学生の精神的なケアにも対応できるシステムを確立している。経済的な支援についても充実している。

主要通用口のスロープや講義等のエレベータだけではなく，学寮1階には車椅子生活が可能な居室

も完備され、障害者でも支障なく日常生活がおくれるよう配慮している。

学生寮は教育寮として位置づけられ、寮務委員会や寮務係による生活全般の指導・支援が行われている。群制度やポイント制を導入し、勉学の間としても人間形成の間としても有効に機能している。

各学科主任・専攻科主任、学級担任が学生課教務係と協力・連携して進路指導を行っている。就職進学資料も学生が自由に閲覧できるように適切に保管されている。卒業時には全員の進路が決定し就職困難な現状にも係らず就職率は100%を維持している。